

調 査 結 果
(市 民)

問1 お住まいの地域の環境についてお伺いします。

設問内容

問1-1 あなたは普段、お住まいの地域の環境についてどのように感じていますか。それぞれの項目について、「満足、やや満足、ふつう、やや不満、不満」の中から1つだけ選んで○をつけてください。

項目	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満
① 大気（空気）の状態は	1	2	3	4	5
② 河川や沼等の水質や水辺の状態は	1	2	3	4	5
③ 海の水質や海岸の状態は	1	2	3	4	5
④ 騒音や振動の状態は	1	2	3	4	5
⑤ においの状態は	1	2	3	4	5
⑥ 山や森などの自然の状態は	1	2	3	4	5
⑦ 農地の状態は	1	2	3	4	5
⑧ 公園、街路樹などの状態は	1	2	3	4	5
⑨ 山や川などの自然の風景は	1	2	3	4	5
⑩ 田や畑などの田園の風景は	1	2	3	4	5
⑪ 建物や街並みなどの風景は	1	2	3	4	5
⑫ 歴史的・文化的な雰囲気は	1	2	3	4	5
⑬ 野生生物とのかかわりは	1	2	3	4	5
⑭ 雪とのかかわりは	1	2	3	4	5
⑮ 市内の清潔さは（ごみの散乱に関して）	1	2	3	4	5
⑯ 地下水の状態は（利用している方のみ）	1	2	3	4	5
⑰ 本市の環境全般	1	2	3	4	5

解析結果

「雪とのかかわりは」では、市民の6割以上が「不満」、「やや不満」と回答しており、満足度%評価では満足ポイント（以降「P」と表記）が△55.6Pとなり、最も低い回答となりました。【表1-1①】平成23年調査（以降、「前回調査」という。）と比べると、「やや不満」が減少したものの、「不満」が増加して、満足ポイントはマイナスポイントで《不満側》が拡大した結果となりました。【表1-1②】

「雪とのかかわりは」の「不満」回答を年齢別にみると「20歳代」、「30歳代」が高く、「やや不満」よりも高くなっています。また、居住年数では「1年～5年未満」が最も高くなっています。地区別でみると、「やや不満」が高いのが「北部地区」、「不満」が高いのが「河辺地区」となっています。【表1-1③参照】

一方、満足ポイントが最も高い項目は「大気（空気）の状態は」が46.6P、次いで、「山や川などの自然の風景は」が37.2P、「田や畑などの田園の風景は」が35.1P、「山や森などの自然の状態は」が33.7Pと、自然環境に関する項目の満足度%評価が高くなっています。【表1-1①】

「雪とのかかわりは」以外で、満足度%評価がマイナス《不満側》となったのは、「歴史的・文化的な雰囲気は」の△0.2Pですが、満足度評価では[3.03]で《満足側》の評価になっています。【表1-1①】

前回調査と比べて、満足度評価が増加したのが9項目、減少したのが8項目でした。増加項目の中で、満足度が、《不満側》から《満足側》に変化したのは「海の水質や海岸の状態は」、「歴史的・文化的な雰囲気は」、「市内の清潔さは（ごみの散乱に関して）」の3項目で、「市内の清潔さは（ごみの散乱に関して）」の増加が最も大きくなりました。【表1-1②】

表 1-1①

	項目 N=551	1	2	3	4	5	無回答	A=1+2	B=4+5	C=A-B	D
		満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満		満足 である	不満 である	満足 ポイント	満足度
1	大気(空気)の状態は	32.3%	18.5%	41.9%	4.0%	0.2%	3.1%	50.8%	4.2%	46.6	3.81
2	河川や沼等の水質や水辺の状態は	12.3%	13.8%	50.9%	13.4%	4.2%	5.4%	26.1%	17.6%	8.5	3.18
3	海の水質や海岸の状態は	7.3%	11.6%	53.2%	14.3%	3.6%	10.0%	18.9%	17.9%	1.0	3.05
4	騒音や振動の状態は	16.5%	13.6%	43.6%	19.1%	4.5%	2.7%	30.1%	23.6%	6.5	3.19
5	においの状態は	17.6%	14.2%	50.5%	12.3%	1.6%	3.8%	31.8%	13.9%	17.9	3.35
6	山や森などの自然の状態は	17.4%	24.0%	44.4%	6.4%	1.3%	6.5%	41.4%	7.7%	33.7	3.53
7	農地の状態は	12.9%	16.0%	53.7%	7.8%	1.3%	8.3%	28.9%	9.1%	19.8	3.34
8	公園、街路樹などの状態は	9.8%	20.7%	44.1%	16.2%	4.7%	4.5%	30.5%	20.9%	9.6	3.15
9	山や川などの自然の風景は	17.2%	26.7%	44.5%	5.8%	0.9%	4.9%	43.9%	6.7%	37.2	3.56
10	田や畑などの田園の風景は	16.5%	23.6%	48.0%	4.5%	0.5%	6.9%	40.1%	5.0%	35.1	3.55
11	建物や街並みなどの風景は	7.1%	17.1%	54.8%	13.4%	3.6%	4.0%	24.2%	17.0%	7.2	3.11
12	歴史的・文化的な雰囲気は	6.5%	12.5%	55.3%	15.4%	3.8%	6.5%	19.0%	19.2%	△ 0.2	3.03
13	野生生物とのかかわりは	5.3%	8.3%	66.4%	10.2%	2.5%	7.3%	13.6%	12.7%	0.9	3.04
14	雪とのかかわりは	1.8%	3.8%	29.2%	37.2%	24.0%	4.0%	5.6%	61.2%	△ 55.6	2.19
15	市内の清潔さは(ごみの散乱に関して)	8.2%	19.4%	50.0%	15.2%	3.4%	3.8%	27.6%	18.6%	9.0	3.14
16	地下水の状態は(利用している方のみ)	2.0%	2.4%	12.9%	1.6%	0.2%	80.9%	4.4%	1.8%	2.6	3.23
17	本市の環境全般	6.4%	18.7%	58.0%	11.6%	0.9%	4.4%	25.1%	12.5%	12.6	3.19

満足度%評価

- ・A:《満足である》=「1 満足」+「2 やや満足」の割合(%)の合計
- ・B:《不満である》=「5 不満」+「4 やや不満」の割合(%)の合計
- ・C: 満足ポイント=A《満足である》-B《不満である》で求め、プラス値を《満足側》、マイナス値を《不満側》と評価する。

満足度評価

- ・評価項目に[5]~[1]の点数を与え全回答数で除して求めた平均値で評価する。
- ・評価の分岐点の値を[3.00]とする。

図 1-1①

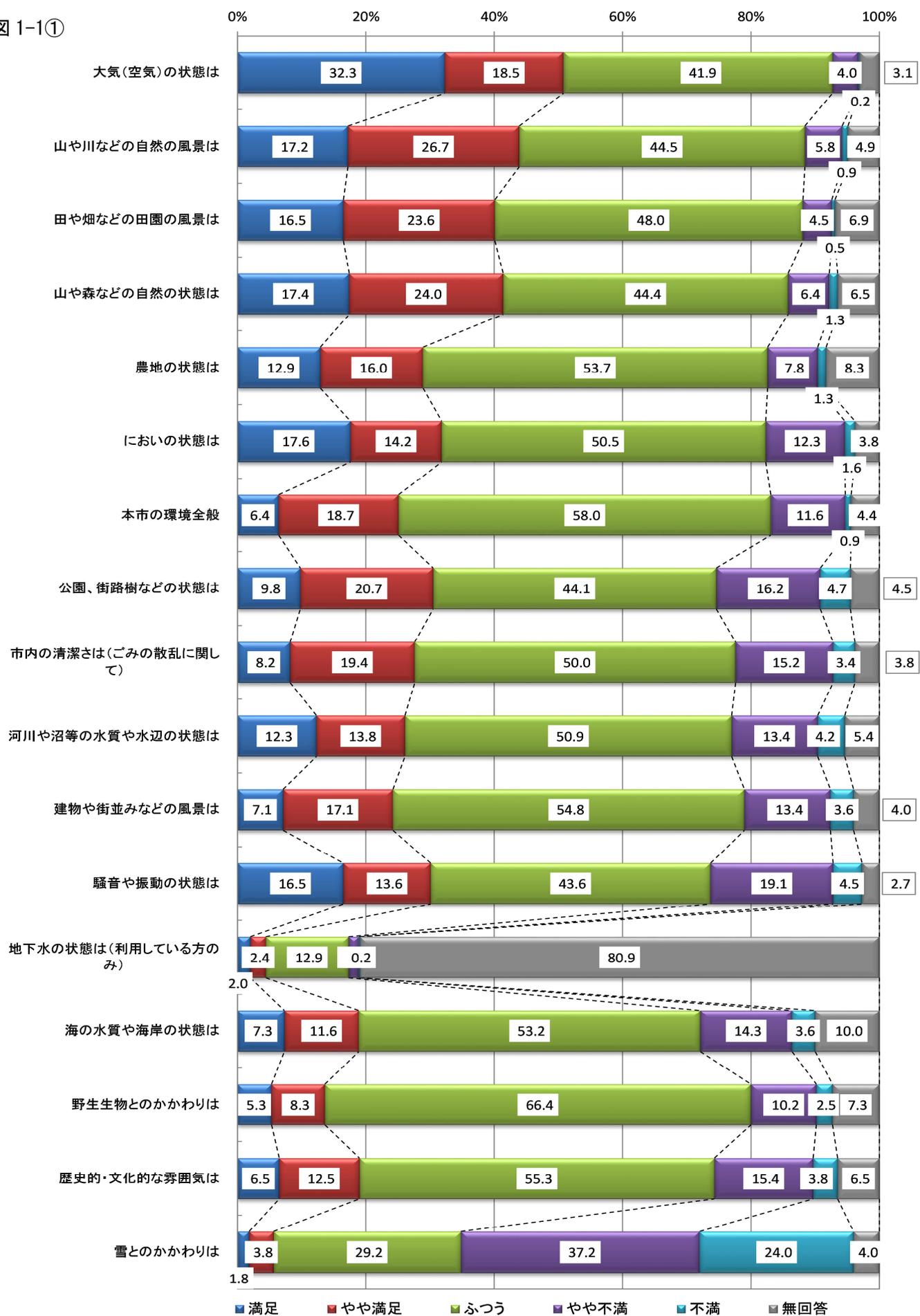


表 1-1② (前回調査比較表)

	項目 H27年度:N=551 H23年度:N=419	年度	1	2	3	4	5	無回答	A=1+2	B=4+5	C=A-B	D
			満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満		満足である	不満である	満足ポイント	満足度
1	大気(空気)の状態は	今回	32.3%	18.5%	41.9%	4.0%	0.2%	3.1%	50.8%	4.2%	46.6	3.81
		前回	31.5%	20.8%	40.8%	5.0%	0.5%	1.4%	52.3%	5.5%	46.8	3.79
2	河川や沼等の水質や水辺の状態は	今回	12.3%	13.8%	50.9%	13.4%	4.2%	5.4%	26.1%	17.6%	8.5	3.18
		前回	9.8%	18.1%	45.8%	17.7%	5.5%	3.1%	27.9%	23.2%	4.8	3.09
3	海の水質や海岸の状態は	今回	7.3%	11.6%	53.2%	14.3%	3.6%	10.0%	18.9%	17.9%	1.0	3.05
		前回	6.0%	12.9%	49.2%	17.7%	4.3%	10.0%	18.9%	22.0%	△ 3.1	2.98
4	騒音や振動の状態は	今回	16.5%	13.6%	43.6%	19.1%	4.5%	2.7%	30.1%	23.6%	6.5	3.19
		前回	16.0%	15.5%	42.0%	17.4%	6.9%	2.1%	31.5%	24.3%	7.2	3.17
5	においの状態は	今回	17.6%	14.2%	50.5%	12.3%	1.6%	3.8%	31.8%	13.9%	17.9	3.35
		前回	17.7%	17.4%	49.4%	11.2%	2.4%	1.9%	35.1%	13.6%	21.5	3.38
6	山や森などの自然の状態は	今回	17.4%	24.0%	44.4%	6.4%	1.3%	6.5%	41.4%	7.7%	33.7	3.53
		前回	23.6%	25.8%	39.1%	7.2%	1.2%	3.1%	49.4%	8.4%	41.1	3.66
7	農地の状態は	今回	12.9%	16.0%	53.7%	7.8%	1.3%	8.3%	28.9%	9.1%	19.8	3.34
		前回	21.0%	20.3%	48.2%	5.3%	1.2%	4.1%	41.3%	6.4%	34.8	3.57
8	公園、街路樹などの状態は	今回	9.8%	20.7%	44.1%	16.2%	4.7%	4.5%	30.5%	20.9%	9.6	3.15
		前回	14.3%	23.9%	43.4%	13.4%	2.9%	2.1%	38.2%	16.2%	22.0	3.34
9	山や川などの自然の風景は	今回	17.2%	26.7%	44.5%	5.8%	0.9%	4.9%	43.9%	6.7%	37.2	3.56
		前回	19.1%	23.2%	43.9%	9.3%	1.2%	3.3%	42.2%	10.5%	31.7	3.51
10	田や畑などの田園の風景は	今回	16.5%	23.6%	48.0%	4.5%	0.5%	6.9%	40.1%	5.0%	35.1	3.55
		前回	20.8%	21.5%	48.7%	4.3%	1.4%	3.3%	42.2%	5.7%	36.5	3.58
11	建物や街並みなどの風景は	今回	7.1%	17.1%	54.8%	13.4%	3.6%	4.0%	24.2%	17.0%	7.2	3.11
		前回	8.1%	12.9%	56.6%	17.2%	3.3%	1.9%	21.0%	20.5%	0.5	3.05
12	歴史的・文化的な雰囲気は	今回	6.5%	12.5%	55.3%	15.4%	3.8%	6.5%	19.0%	19.2%	△ 0.2	3.03
		前回	5.0%	12.9%	56.6%	17.2%	4.3%	4.1%	17.9%	21.5%	△ 3.6	2.97
13	野生生物とのかかわりは	今回	5.3%	8.3%	66.4%	10.2%	2.5%	7.3%	13.6%	12.7%	0.9	3.04
		前回	6.9%	9.3%	69.9%	8.8%	1.9%	3.1%	16.2%	10.7%	5.5	3.11
14	雪とのかかわりは	今回	1.8%	3.8%	29.2%	37.2%	24.0%	4.0%	5.6%	61.2%	△ 55.6	2.19
		前回	1.0%	6.7%	34.8%	39.6%	15.8%	2.1%	7.6%	55.4%	△ 47.7	2.36
15	市内の清潔さは (ごみの散乱に関して)	今回	8.2%	19.4%	50.0%	15.2%	3.4%	3.8%	27.6%	18.6%	9.0	3.14
		前回	5.3%	16.0%	50.1%	22.4%	4.5%	1.7%	21.2%	27.0%	△ 5.7	2.95
16	地下水の状態は (利用している方のみ)	今回	2.0%	2.4%	12.9%	1.6%	0.2%	80.9%	4.4%	1.8%	2.6	3.23
		前回	3.3%	2.9%	9.5%	1.2%	0.2%	82.8%	6.2%	1.4%	4.8	3.46
17	本市の環境全般	今回	6.4%	18.7%	58.0%	11.6%	0.9%	4.4%	25.1%	12.5%	12.6	3.19
		前回	2.6%	22.7%	57.0%	12.9%	2.1%	2.6%	25.3%	15.0%	10.3	3.11

満足度%評価

- ・A:《満足である》=「1 満足」+「2 やや満足」の割合(%)の合計
- ・B:《不満である》=「5 不満」+「4 やや不満」の割合(%)の合計
- ・C: 満足ポイント=A《満足である》-B《不満である》で求め、プラス値を《満足側》、マイナス値を《不満側》と評価する。

満足度評価

- ・評価項目に[5]~[1]の点数を与え全回答数で除して求めた平均値で評価する。
- ・評価の分岐点の値を[3.00]とする。

図 1-1② 前回調査比較

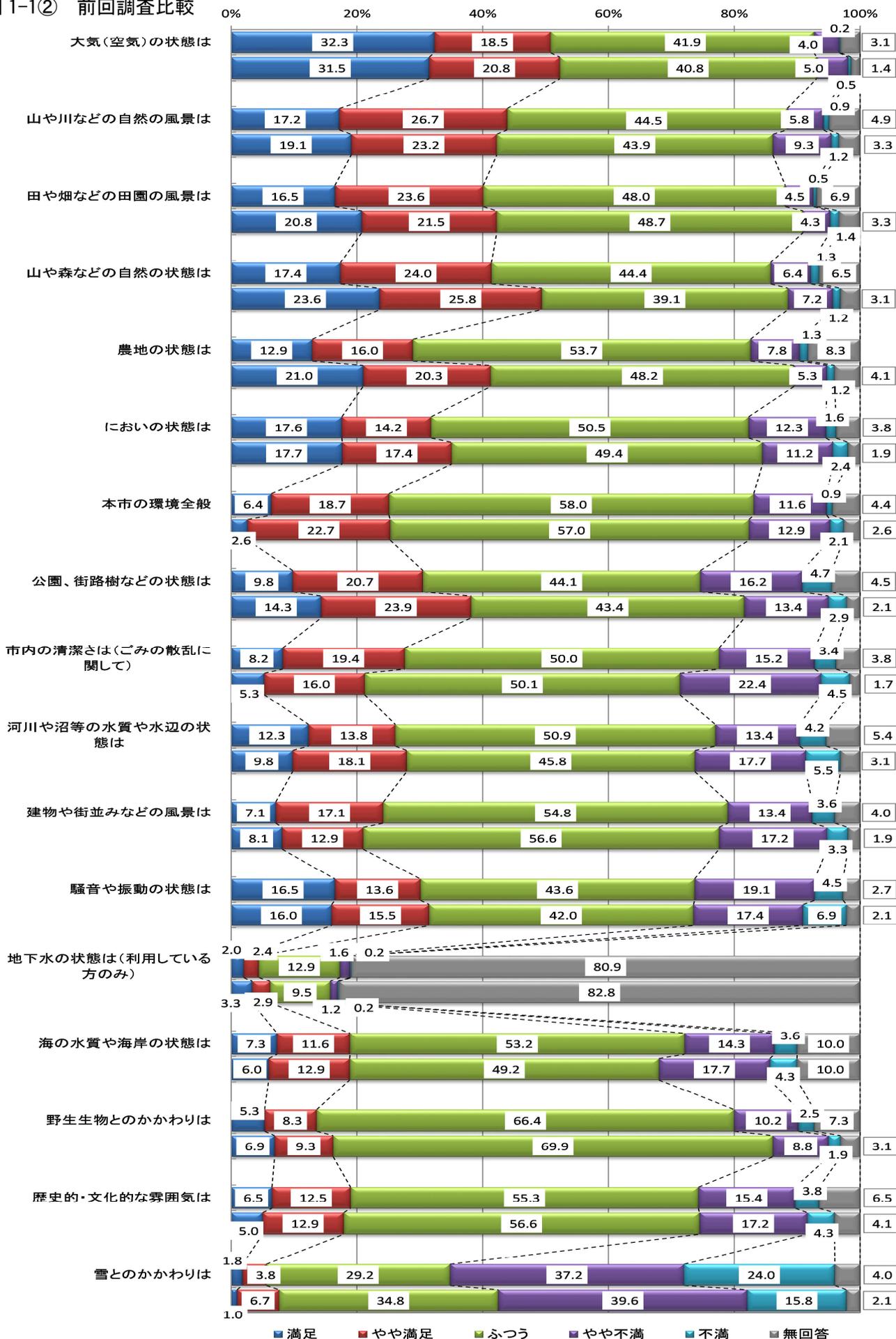


表 1-1③ 雪とのかかわりについて

(14) 雪とのかかわりは		選択肢	1	2	3	4	5	無回答	
		合計	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満		
合計		551 100.0%	10 1.8%	21 3.8%	161 29.2%	205 37.2%	132 24.0%	22 4.0%	
性別	1. 男性	224 100.0%	4 1.8%	11 4.9%	74 33.0%	79 35.3%	48 21.4%	8 3.6%	
	2. 女性	323 100.0%	6 1.9%	10 3.1%	86 26.6%	126 39.0%	83 25.7%	12 3.7%	
	不明	4 100.0%	-	-	1 25.0%	-	1 25.0%	2 50.0%	
年齢	1. 18歳～29歳	62 100.0%	4 6.5%	8 12.9%	16 25.8%	16 25.8%	17 27.4%	1 1.6%	
	2. 30歳～39歳	68 100.0%	3 4.4%	3 4.4%	26 38.2%	15 22.1%	21 30.9%	-	
	3. 40歳～49歳	88 100.0%	1 1.1%	2 2.3%	23 26.1%	38 43.2%	19 21.6%	5 5.7%	
	4. 50歳～59歳	110 100.0%	-	3 2.7%	30 27.3%	48 43.7%	25 22.7%	4 3.6%	
	5. 60歳～69歳	116 100.0%	1 0.9%	2 1.7%	36 31.0%	46 39.7%	28 24.1%	3 2.6%	
	6. 70歳以上	104 100.0%	1 1.0%	3 2.9%	29 27.9%	42 40.3%	21 20.2%	8 7.7%	
	不明	3 100.0%	-	-	1 33.3%	-	1 33.3%	1 33.4%	
職業	1. 会社員・団体職員	167 100.0%	1 0.6%	6 3.6%	47 28.1%	65 39.0%	46 27.5%	2 1.2%	
	2. 会社等の役員	19 100.0%	-	-	7 36.8%	6 31.6%	6 31.6%	-	
	3. 商工業の自営者	22 100.0%	-	-	10 45.5%	7 31.8%	5 22.7%	-	
	4. 農林漁業の自営者	7 100.0%	1 14.3%	-	3 42.8%	2 28.6%	-	1 14.3%	
	5. 公務員	36 100.0%	2 5.6%	2 5.6%	10 27.8%	12 33.3%	7 19.4%	3 8.3%	
	6. 無職	202 100.0%	-	8 4.0%	60 29.7%	78 38.5%	48 23.8%	8 4.0%	
	7. 学生	17 100.0%	3 17.6%	4 23.6%	4 23.6%	3 17.6%	3 17.6%	-	
	8. その他	72 100.0%	2 2.8%	1 1.4%	17 23.6%	30 41.7%	16 22.2%	6 8.3%	
	不明	9 100.0%	1 11.1%	-	3 33.3%	2 22.2%	1 11.1%	2 22.3%	
居住年数	1. 1年未満	22 100.0%	1 4.5%	2 9.1%	10 45.5%	6 27.3%	2 9.1%	1 4.5%	
	2. 1年以上 5年未満	72 100.0%	3 4.2%	6 8.3%	19 26.4%	21 29.2%	23 31.9%	-	
	3. 5年以上 10年未満	59 100.0%	-	1 1.7%	17 28.8%	21 35.6%	17 28.8%	3 5.1%	
	4. 10年以上 15年未満	70 100.0%	3 4.3%	3 4.3%	21 30.0%	27 38.5%	16 22.9%	-	
	5. 15年以上 20年未満	59 100.0%	2 3.4%	4 6.8%	13 22.0%	26 44.1%	11 18.6%	3 5.1%	
	6. 20年以上	267 100.0%	1 0.4%	5 1.9%	80 30.0%	104 38.9%	63 23.6%	14 5.2%	
	不明	2 100.0%	-	-	1 50.0%	-	-	1 50.0%	
	地区	1. 中央地区	111 100.0%	2 1.8%	1 0.9%	29 26.1%	45 40.6%	29 26.1%	5 4.5%
		2. 東部地区	90 100.0%	-	6 6.7%	25 27.8%	35 38.9%	22 24.4%	2 2.2%
3. 西部地区		69 100.0%	-	3 4.3%	21 30.4%	29 42.2%	15 21.7%	1 1.4%	
4. 南部地区		84 100.0%	3 3.6%	3 3.6%	22 26.2%	27 32.1%	22 26.2%	7 8.3%	
5. 北部地区		111 100.0%	3 2.7%	5 4.5%	30 27.0%	49 44.2%	21 18.9%	3 2.7%	
6. 河辺地区		41 100.0%	-	2 4.9%	17 41.4%	7 17.1%	13 31.7%	2 4.9%	
7. 雄和地区		43 100.0%	2 4.7%	1 2.3%	16 37.2%	13 30.2%	10 23.3%	1 2.3%	
不明		2 100.0%	-	-	1 50.0%	-	-	1 50.0%	
問4 過去5年 に取組の 変化の 市よ う仕	1. 取組が十分に行われている	13 100.0%	2 15.4%	-	3 23.1%	5 38.4%	3 23.1%	-	
	2. 取組が徐々に行われてきている	198 100.0%	4 2.0%	10 5.1%	56 28.3%	81 40.9%	43 21.7%	4 2.0%	
	3. 以前と変わらない	168 100.0%	2 1.2%	6 3.6%	44 26.2%	56 33.2%	52 31.0%	8 4.8%	
	4. 取組が以前より悪くなっている	15 100.0%	1 6.7%	-	3 20.0%	5 33.3%	5 33.3%	1 6.7%	
	5. わからない	139 100.0%	1 0.7%	5 3.6%	50 36.0%	52 37.4%	27 19.4%	4 2.9%	
	不明	18 100.0%	-	-	5 27.8%	6 33.3%	2 11.1%	5 27.8%	

設問内容

問1-2 あなたは最近、お住まいの地域で、次の動物や昆虫を見かけたことがありますか。
次の中からあてはまるもの全てに○をつけてください。

- | | | |
|------------------------------------|----------|-------------|
| 1 セミ | 2 チョウ | 3 トンボ |
| 4 バッタ | 5 ホタル | 6 カブトムシ |
| 7 ヘビ | 8 カエル | 9 ドジョウ |
| 10 フナ | 11 メダカ | 12 タニシなどの貝類 |
| 13 キジ | 14 ハクチョウ | 15 サギ |
| 16 カモシカ | 17 クマ | 18 タヌキ |
| 19 その他、最近よくみかけるようになった動物（具体的に_____） | | |

解析結果

良く見かける上位3位「トンボ」、「チョウ」、「セミ」が8割以上であるのに対し「メダカ」、「ホタル」、「フナ」、「クマ」を見かけた人は1割以下となっています。【表1-2④参照】

特に「ホタル」は、河辺地区、雄和地区では3割以上の人が見かけると回答していますが、他の地区では5%以下の回答となっています。【表1-2⑦参照】

前回調査と比べると「トンボ」、「ヘビ」、「タヌキ」、「ハクチョウ・サギ」は増加したものの、他の動物や昆虫は全て減少しています。【表1-2②参照】特に「キジ」は、10.3ポイント減少と大きな変化がみられ、河辺地区、雄和地区、東部地区で半減しています。【表1-2⑦参照】

上位3位に回答率が5割を超える「バッタ」、「カエル」、「ハクチョウ・サギ」を加えた上位6位は、雄和地区、河辺地区で良く見かけられています。北部地区では「セミ」が約6割にとどまり、他の地区と比べ低く、「セミ」以外の項目では、中央地区が全体的に低い回答になっています。【表1-2⑥参照】

「その他」には、最近よく見かけるようになった動物として、「カラス(15人)」、「のら猫(13人)」、「蛾(7人)」、「スズメ(6人)」、「ハクビシン」、「蜂(クマバチ、スズメバチ)(各5人)」という回答を含めて92件128の動物や昆虫名が挙げられました。

表 1-2①

	項目	N=551	回答数	回答率
1	3 トンボ		516	93.6%
2	2 チョウ		490	88.9%
3	1 セミ		447	81.1%
4	4 バッタ		361	65.5%
5	8 カエル		357	64.8%
6	15 サギ		226	41.0%
7	14 ハクチョウ		198	35.9%
8	7 ヘビ		192	34.8%
9	13 キジ		185	33.6%
10	16 カモシカ		185	33.6%
11	18 タヌキ		105	19.1%
12	6 カブトムシ		89	16.2%
13	12 タニシなどの貝類		73	13.2%
14	9 ドジョウ		67	12.2%
15	11 メダカ		55	10.0%
16	5 ホタル		45	8.2%
17	10 フナ		38	6.9%
18	17 クマ		21	3.8%
19	19 その他		98	17.8%
	無回答		13	2.4%
	計		3,761	682.6%

図 1-2①

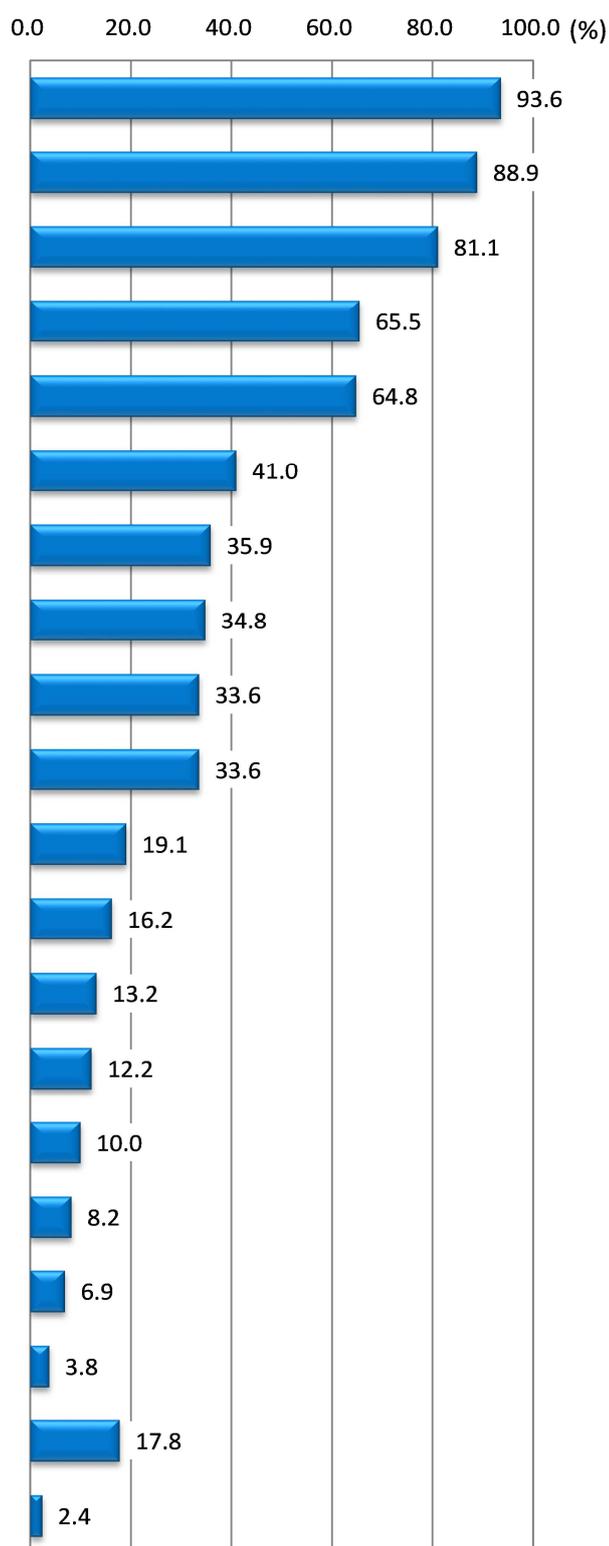


表 1-2② (前回調査比較)

	項目	今回 N=551	前回 N=419
1	3 トンボ	93.6%	91.4%
2	2 チョウ	88.9%	92.4%
3	1 セミ	81.1%	85.9%
4	4 バッタ	65.5%	68.0%
5	8 カエル	64.8%	68.3%
6	14 ハクチョウ 15 サギ	53.7%	50.6%
7	7 ヘビ	34.8%	33.7%
8	13 キジ	33.6%	43.9%
9	16 カモシカ	33.6%	38.9%
10	18 タヌキ	19.1%	16.5%
11	6 カブトムシ	16.2%	18.1%
12	12 タニシなどの貝類	13.2%	15.5%
13	9 ドジョウ	12.2%	15.3%
14	11 メダカ	10.0%	13.8%
16	5 ホタル	8.2%	13.8%
17	10 フナ	6.9%	8.8%
18	17 クマ	3.8%	6.9%
19	19 その他	17.8%	10.0%
	無回答	2.4%	1.4%
	計	659.4%	685.1%

図 1-2② 同左

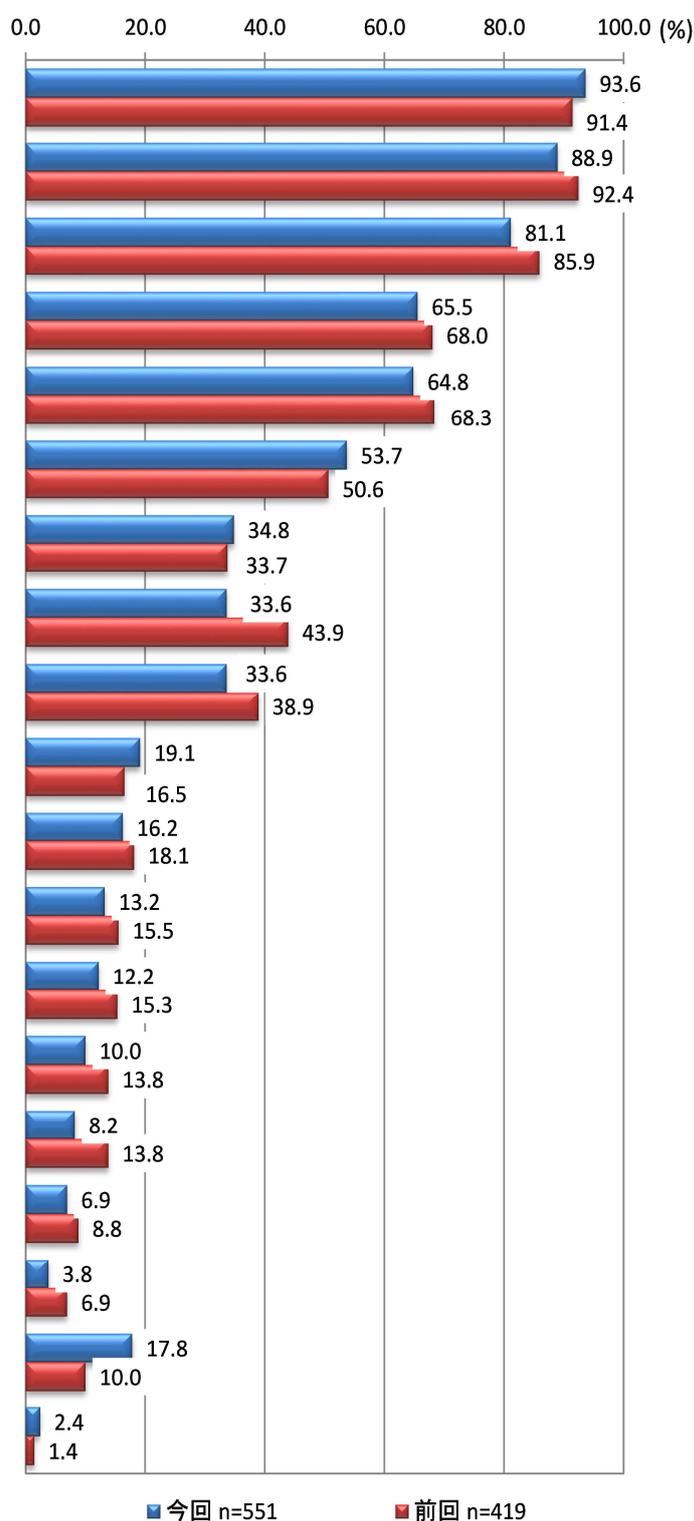


表 1-2③

各地区で見られる動物や昆虫の割合

n=回答数	セミ	チョウ	トンボ	バッタ	ホタル	カブトムシ	ヘビ	カエル	ドジョウ	フナ	メダカ	タニシなどの貝類	キジ	ハクチョウ	サギ	カモシカ	クマ	タヌキ	その他	無回答
1. 中央地区 (n=111) 100.0%	95 85.6%	90 81.1%	96 86.5%	48 43.2%	2 1.8%	8 7.2%	8 7.2%	38 34.2%	3 2.7%	1 0.9%	2 1.8%	4 3.6%	20 18.0%	24 21.6%	31 27.9%	26 23.4%	-	6 5.4%	16 14.4%	4 3.6%
2. 東部地区 (n=90) 100.0%	86 95.6%	81 90.0%	86 95.6%	66 73.3%	4 4.4%	13 14.4%	37 41.1%	65 72.2%	9 10.0%	5 5.6%	8 8.9%	11 12.2%	20 22.2%	22 24.4%	36 40.0%	49 54.4%	3 3.3%	16 17.8%	14 15.6%	1 1.1%
3. 西部地区 (n=69) 100.0%	51 73.9%	62 89.9%	67 97.1%	44 63.8%	3 4.3%	6 8.7%	19 27.5%	38 55.1%	3 4.3%	3 4.3%	3 4.3%	6 8.7%	40 58.0%	32 46.4%	19 27.5%	9 13.0%	-	17 24.6%	15 21.7%	-
4. 南部地区 (n=84) 100.0%	70 83.3%	72 85.7%	79 94.0%	55 65.5%	3 3.6%	13 15.5%	24 28.6%	61 72.6%	7 8.3%	2 2.4%	5 6.0%	11 13.1%	28 33.3%	34 40.5%	39 46.4%	22 26.2%	-	11 13.1%	20 23.8%	5 6.0%
5. 北部地区 (n=111) 100.0%	65 58.6%	104 93.7%	106 95.5%	75 67.6%	4 3.6%	8 7.2%	31 27.9%	76 68.5%	14 12.6%	9 8.1%	16 14.4%	19 17.1%	53 47.7%	30 27.0%	52 46.8%	32 28.8%	3 2.7%	14 12.6%	20 18.0%	2 1.8%
6. 河辺地区 (n=41) 100.0%	37 90.2%	38 92.7%	39 95.1%	31 75.6%	13 31.7%	16 39.0%	31 75.6%	36 87.8%	15 36.6%	7 17.1%	9 22.0%	8 19.5%	10 24.4%	28 68.3%	21 51.2%	22 53.7%	7 17.1%	13 31.7%	1 2.4%	-
7. 雄和地区 (n=43) 100.0%	42 97.7%	42 97.7%	42 97.7%	41 95.3%	16 37.2%	25 58.1%	42 97.7%	42 97.7%	16 37.2%	11 25.6%	12 27.9%	14 32.6%	14 32.6%	28 65.1%	28 65.1%	24 55.8%	8 18.6%	8 65.1%	12 27.9%	-
不明 (n=2) 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	1 50.0%	1 50.0%	-	-	-	1 50.0%	-	-	-	-	-	-	-	1 50.0%	-	-	-	1 50.0%
合計 (n=551) 100.0%	447 81.1%	490 88.9%	516 93.6%	361 65.5%	45 8.2%	89 16.2%	192 34.8%	357 64.8%	67 12.2%	38 6.9%	55 10.0%	73 13.2%	185 33.6%	198 35.9%	226 41.0%	185 33.6%	21 3.8%	105 19.1%	98 17.8%	13 2.4%

表 1-2④

見かけた動物や昆虫の各地区の割合

n=回答数	セミ	チョウ	トンボ	バッタ	ホタル	カブトムシ	ヘビ	カエル	ドジョウ	フナ	メダカ	タニシなどの貝類	キジ	ハクチョウ	サギ	カモシカ	クマ	タヌキ	その他	無回答
1. 中央地区 (n=111) 21.3%	95 85.6%	90 81.1%	96 86.5%	48 43.2%	2 1.8%	8 7.2%	8 7.2%	38 34.2%	3 2.7%	1 0.9%	2 1.8%	4 3.6%	20 18.0%	24 21.6%	31 27.9%	26 23.4%	-	6 5.4%	16 14.4%	4 3.6%
2. 東部地区 (n=90) 19.2%	86 95.6%	81 90.0%	86 95.6%	66 73.3%	4 4.4%	13 14.4%	37 41.1%	65 72.2%	9 10.0%	5 5.6%	8 8.9%	11 12.2%	20 22.2%	22 24.4%	36 40.0%	49 54.4%	3 3.3%	16 17.8%	14 15.6%	1 1.1%
3. 西部地区 (n=69) 11.4%	51 73.9%	62 89.9%	67 97.1%	44 63.8%	3 4.3%	6 8.7%	19 27.5%	38 55.1%	3 4.3%	3 4.3%	3 4.3%	6 8.7%	40 58.0%	32 46.4%	19 27.5%	9 13.0%	-	17 24.6%	15 21.7%	-
4. 南部地区 (n=84) 15.7%	70 83.3%	72 85.7%	79 94.0%	55 65.5%	3 3.6%	13 15.5%	24 28.6%	61 72.6%	7 8.3%	2 2.4%	5 6.0%	11 13.1%	28 33.3%	34 40.5%	39 46.4%	22 26.2%	-	11 13.1%	20 23.8%	5 6.0%
5. 北部地区 (n=111) 14.5%	65 58.6%	104 93.7%	106 95.5%	75 67.6%	4 3.6%	8 7.2%	31 27.9%	76 68.5%	14 12.6%	9 8.1%	16 14.4%	19 17.1%	53 47.7%	30 27.0%	52 46.8%	32 28.8%	3 2.7%	14 12.6%	20 18.0%	2 1.8%
6. 河辺地区 (n=41) 14.5%	37 90.2%	38 92.7%	39 95.1%	31 75.6%	13 31.7%	16 39.0%	31 75.6%	36 87.8%	15 36.6%	7 17.1%	9 22.0%	8 19.5%	10 24.4%	28 68.3%	21 51.2%	22 53.7%	7 17.1%	13 31.7%	1 2.4%	-
7. 雄和地区 (n=43) 100.0%	42 97.7%	42 97.7%	42 97.7%	41 95.3%	16 37.2%	25 58.1%	42 97.7%	42 97.7%	16 37.2%	11 25.6%	12 27.9%	14 32.6%	14 32.6%	28 65.1%	28 65.1%	24 55.8%	8 18.6%	8 65.1%	12 27.9%	-
不明 (n=2) 0.2%	1 50.0%	1 50.0%	1 50.0%	1 50.0%	-	-	-	1 50.0%	-	-	-	-	-	-	-	1 50.0%	-	-	-	1 50.0%
合計 (n=551) 100.0%	447 81.1%	490 88.9%	516 93.6%	361 65.5%	45 8.2%	89 16.2%	192 34.8%	357 64.8%	67 12.2%	38 6.9%	55 10.0%	73 13.2%	185 33.6%	198 35.9%	226 41.0%	185 33.6%	21 3.8%	105 19.1%	98 17.8%	13 2.4%

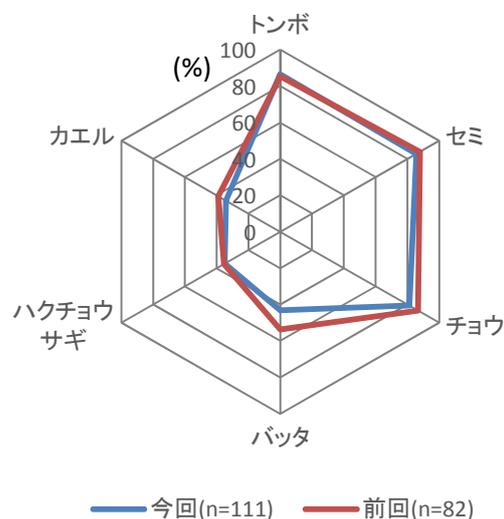
表 1-2⑤ 【地区別動物比較グラフ】上位6位（見かける率 50%以上）

《中央地区》

増加した動物昆虫：トンボ

減少した動物昆虫：セミ、チョウ、バッタ、ハクチョウ・サギ、カエル

	項目	今回 N=111	前回 N=82
1	3 トンボ	86.5%	85.4%
2	1 セミ	85.6%	87.8%
3	2 チョウ	81.1%	86.6%
4	4 バッタ	43.2%	53.7%
5	14 15 ハクチョウ サギ	35.1%	35.4%
6	8 カエル	34.2%	39.0%



《東部地区》

増加した動物昆虫：トンボ、バッタ

減少した動物昆虫：セミ、チョウ、カエル、カモシカ

	項目	今回 N=90	前回 N=65
1	1 セミ	95.6%	98.5%
2	3 トンボ	95.6%	92.3%
3	2 チョウ	90.0%	96.9%
4	4 バッタ	73.3%	66.2%
5	8 カエル	72.2%	75.4%
6	16 カモシカ	54.4%	60.0%

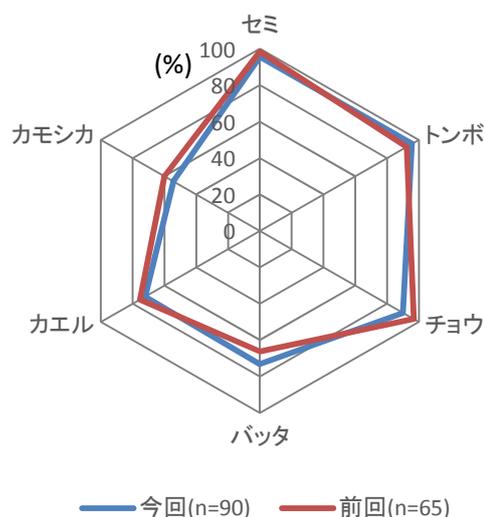
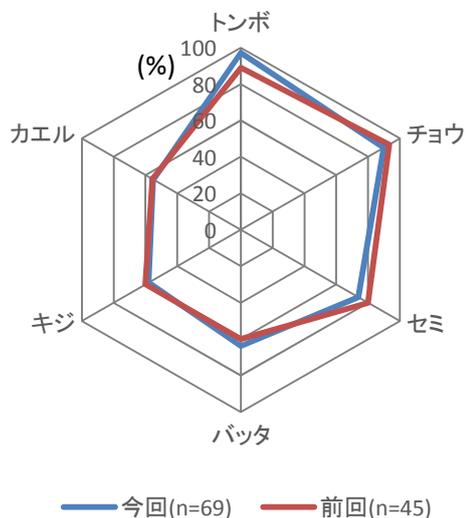


表 1-2⑤ 【地区別動物比較グラフ】上位6位（見かける率 50%以上）

《西部地区》

増加した動物昆虫：トンボ、バッタ
減少した動物昆虫：チョウ、セミ、キジ、カエル

	項目	今回 N=69	前回 N=45
1	3 トンボ	97.1%	88.9%
2	2 チョウ	89.9%	93.3%
3	1 セミ	73.9%	80.0%
4	4 バッタ	63.8%	60.0%
5	13 キジ	58.0%	60.0%
6	8 カエル	55.1%	55.6%



《南部地区》

増加した動物昆虫：トンボ、カエル、バッタ、ハクチョウ・サギ
減少した動物昆虫：チョウ、セミ

	項目	今回 N=84	前回 N=63
1	3 トンボ	94.0%	88.9%
2	2 チョウ	85.7%	92.1%
3	1 セミ	83.3%	85.7%
4	8 カエル	72.6%	69.8%
5	4 バッタ	65.5%	57.1%
6	14 15 ハクチョウ サギ	58.3%	55.6%

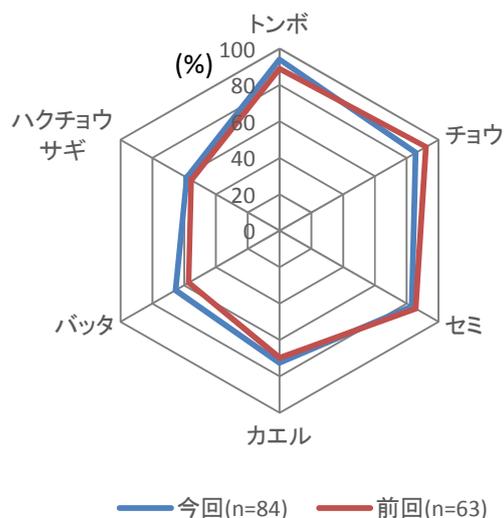
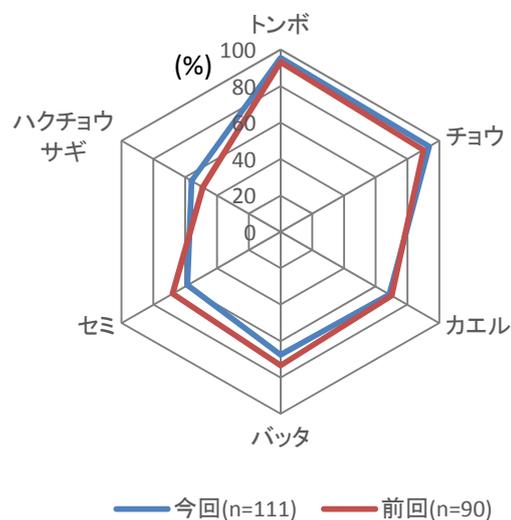


表 1-2⑤ 【地区別動物比較グラフ】上位6位（見かける率 50%以上）

《北部地区》

増加した動物昆虫：トンボ、チョウ、ハクチョウ・サギ
 減少した動物昆虫：カエル、バッタ、セミ

	項目	今回 N=111	前回 N=90
1	3 トンボ	95.5%	93.3%
2	2 チョウ	93.7%	90.0%
3	8 カエル	68.5%	70.0%
4	4 バッタ	67.6%	73.3%
5	1 セミ	58.6%	67.8%
6	14 15 ハクチョウ サギ	55.9%	48.9%



《河辺地区》

増加した動物昆虫：ハクチョウ・サギ
 減少した動物昆虫：トンボ、チョウ、セミ、カエル、バッタ

	項目	今回 N=41	前回 N=36
1	3 トンボ	95.1%	100.0%
2	2 チョウ	92.7%	97.2%
3	1 セミ	90.2%	97.2%
4	8 カエル	87.8%	100.0%
5	14 15 ハクチョウ サギ	78.0%	69.4%
6	4 バッタ	75.6%	97.2%

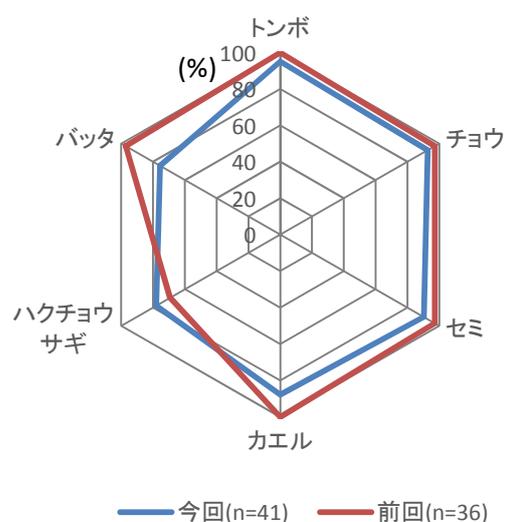


表 1-2⑤ 【地区別動物比較グラフ】上位6位（見かける率 50%以上）

《雄和地区》

増加した動物昆虫：チョウ、トンボ、ヘビ、カエル、バッタ
 減少した動物昆虫：セミ

	項目	今回 N=43	前回 N=36
1	1 セミ	97.7%	100.0%
2	2 チョウ	97.7%	97.2%
3	3 トンボ	97.7%	97.2%
4	7 ヘビ	97.7%	94.4%
5	8 カエル	97.7%	97.2%
6	4 バッタ	95.3%	91.7%

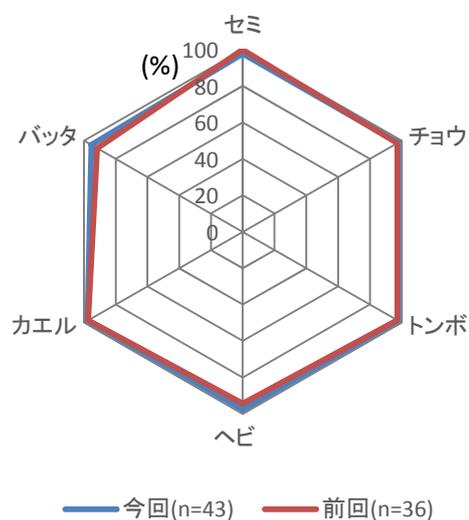
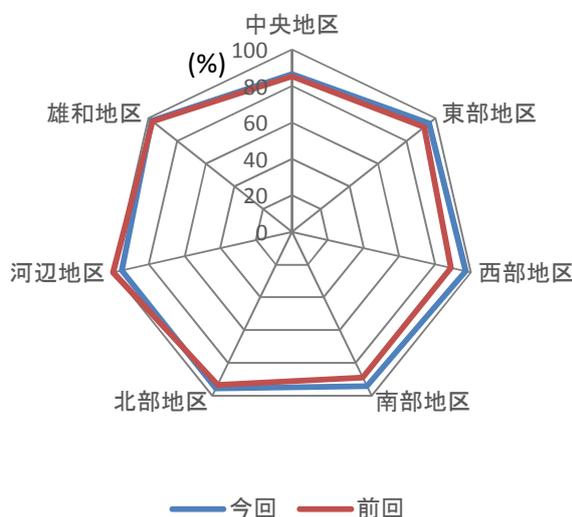


表 1-2⑥ 【動物別地区比較グラフ】見かける動物上位 6 位（50%以上）

1 位：《トンボ》

増加した地区：中央地区、東部地区、西部地区、南部地区、北部地区、雄和地区
減少した地区：河辺地区

項目	今回	前回
1 中央地区	86.5%	85.4%
2 東部地区	95.6%	92.3%
3 西部地区	97.1%	88.9%
4 南部地区	94.0%	88.9%
5 北部地区	95.5%	93.3%
6 河辺地区	95.1%	100.0%
7 雄和地区	97.7%	97.2%



2 位：《チョウ》

増加した地区：北部地区、雄和地区
減少した地区：中央地区、東部地区、西部地区、南部地区、河辺地区

項目	今回	前回
1 中央地区	81.1%	86.6%
2 東部地区	90.0%	96.9%
3 西部地区	89.9%	93.3%
4 南部地区	85.7%	92.1%
5 北部地区	93.7%	90.0%
6 河辺地区	92.7%	97.2%
7 雄和地区	97.7%	97.2%

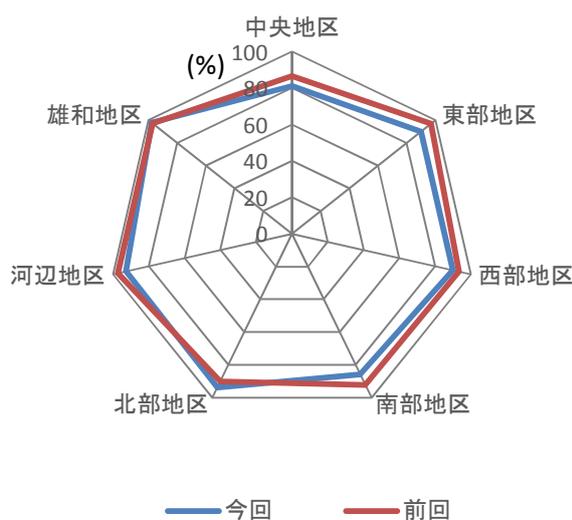
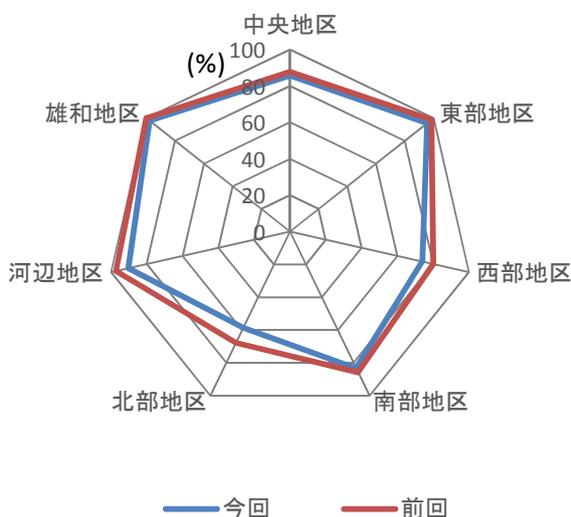


表 1-2⑥ 【動物別地区比較グラフ】 見かける動物上位 6 位（50%以上）

3 位：《セミ》

増加した地区：なし
減少した地区：全地区

項目	今回	前回
1 中央地区	85.6%	87.8%
2 東部地区	95.6%	98.5%
3 西部地区	73.9%	80.0%
4 南部地区	83.3%	85.7%
5 北部地区	58.6%	67.8%
6 河辺地区	90.2%	97.2%
7 雄和地区	97.7%	100.0%



4 位：《バッタ》

増加した地区：東部地区、西部地区、南部地区、雄和地区
減少した地区：中央地区、北部地区、河辺地区

項目	今回	前回
1 中央地区	43.2%	53.7%
2 東部地区	73.3%	66.2%
3 西部地区	63.8%	60.0%
4 南部地区	65.5%	57.1%
5 北部地区	67.6%	73.3%
6 河辺地区	75.6%	97.2%
7 雄和地区	95.3%	91.7%

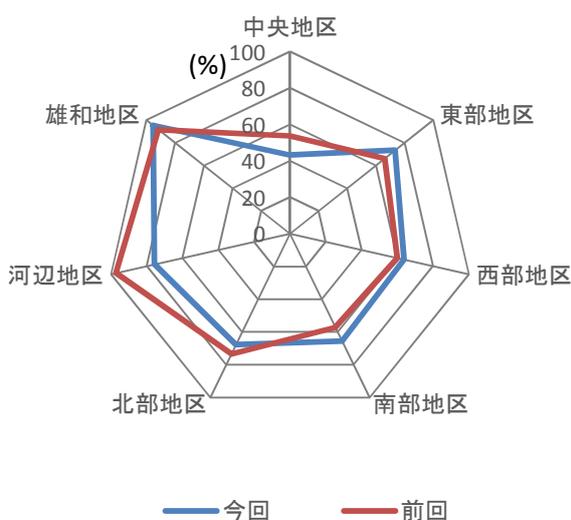


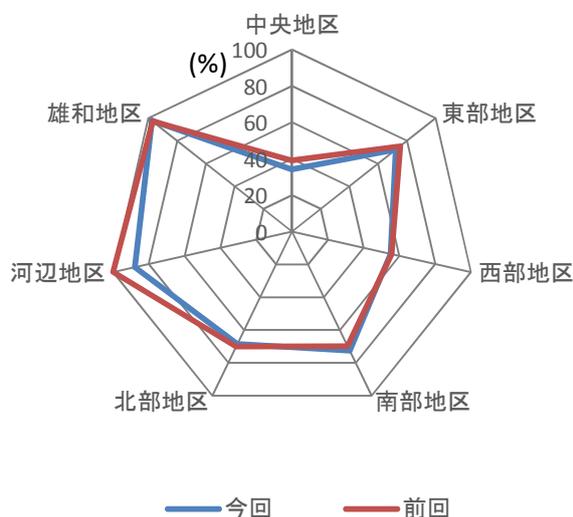
表 1-2⑥ 【動物別地区比較グラフ】見かける動物上位 6 位（50%以上）

5 位：《カエル》

増加した地区：南部地区、雄和地区

減少した地区：中央地区、東部地区、西部地区、北部地区、河辺地区

項目	今回	前回
1 中央地区	34.2%	39.0%
2 東部地区	72.2%	75.4%
3 西部地区	55.1%	55.6%
4 南部地区	72.6%	69.8%
5 北部地区	68.5%	70.0%
6 河辺地区	87.8%	100.0%
7 雄和地区	97.7%	97.2%



6 位：《ハクチョウ・サギ》

増加した地区：東部地区、南部地区、北部地区、河辺地区、雄和地区

減少した地区：中央地区、西部地区

項目	今回	前回
1 中央地区	35.1%	35.4%
2 東部地区	48.9%	40.0%
3 西部地区	52.2%	53.3%
4 南部地区	58.3%	55.6%
5 北部地区	55.9%	48.9%
6 河辺地区	78.0%	69.4%
7 雄和地区	79.1%	75.0%

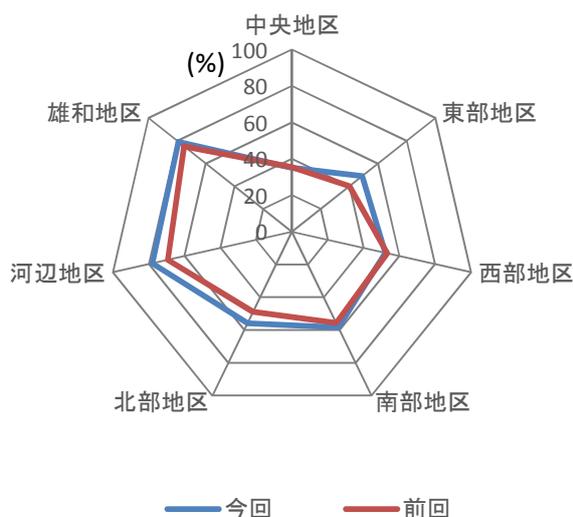


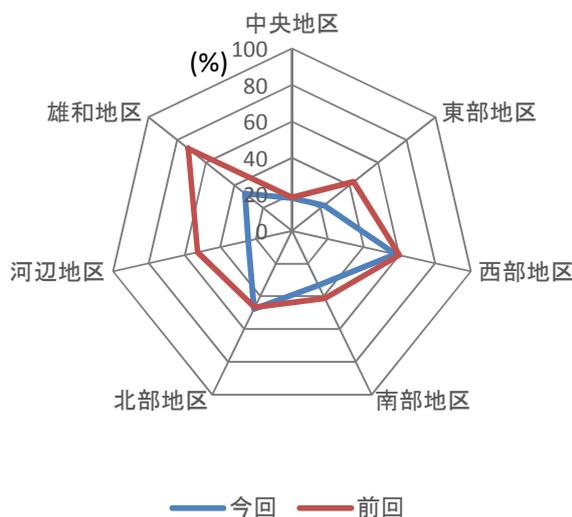
表 1-2⑦ 【動物別地区比較グラフ】 見かける動物

9位：《キジ》

増加した地区：北部地区

減少した地区：中央地区、東部地区、西部地区、南部地区、河辺地区、雄和地区

項目	今回	前回
1 中央地区	18.0%	18.3%
2 東部地区	22.2%	43.1%
3 西部地区	58.0%	60.0%
4 南部地区	33.3%	41.3%
5 北部地区	47.7%	46.7%
6 河辺地区	24.4%	52.8%
7 雄和地区	32.6%	72.2%

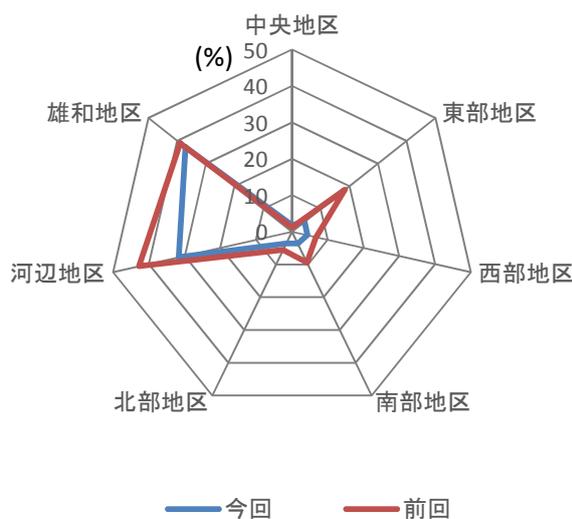


16位：《ホタル》

増加した地区：中央地区

減少した地区：東部地区、西部地区、南部地区、北部地区、河辺地区、雄和地区

項目	今回	前回
1 中央地区	1.8%	1.2%
2 東部地区	4.4%	18.5%
3 西部地区	4.3%	6.7%
4 南部地区	3.6%	9.5%
5 北部地区	3.6%	5.6%
6 河辺地区	31.7%	42.7%
7 雄和地区	37.2%	38.9%



問2 環境分野についてお伺いします。

設問内容

問2 あなたは、どのような環境分野に関心がありますか。
次の中からあてはまるもの全てに○をつけてください。

- 1 地球温暖化など地球規模の環境問題
- 2 ごみや産業廃棄物の処理やリサイクル
- 3 大気汚染、水質汚濁、悪臭、騒音、振動などの公害問題
- 4 公園や街並みの整備などゆとりと潤いのある環境の創出
- 5 豊かな自然環境の保全
- 6 身近な生きものの保全
- 7 貴重な野生動植物の保護
- 8 太陽光や風力など自然エネルギーの活用
- 9 人と自然が共生する快適環境の創造
- 10 有害化学物質や環境ホルモンなどによる環境汚染
- 11 不法投棄など廃棄物の不適正処理
- 12 大雨、大雪などの異常気象
- 13 空き家、空き地、耕作放棄地などの未利用地の増加
- 14 その他（具体的に_____）

解析結果

関心のある環境分野では、「大雨、大雪などの異常気象」が約8割で他に比べ高い関心を占めています。次いで「地球温暖化など地球規模の環境問題」が5割台、「空き家、空き地、耕作放棄地などの未利用地の増加」、「ごみや産業廃棄物の処理やリサイクル」、「太陽光や風力など自然エネルギーの活用」など5項目が4割台で続いています。

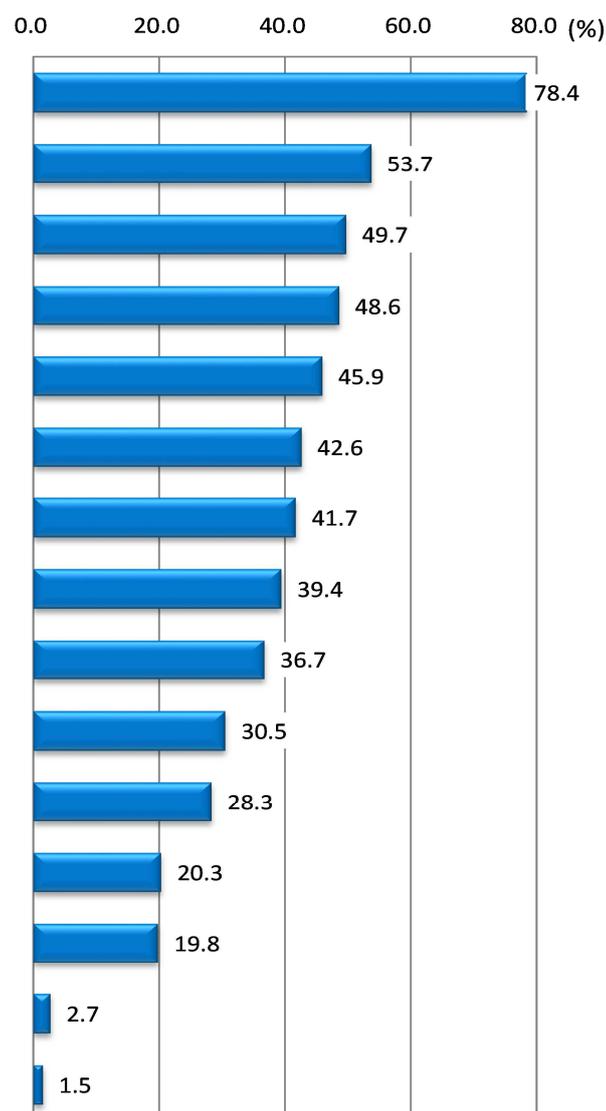
一方、「貴重な野生動植物の保護」や「身近な生きものの保全」といった自然環境保全の分野が2割と低い関心となっています。【表2参照】

「その他」には、「太陽光や風力など自然エネルギーの活用での景観問題、景観のあり方。」、「道路添いの雑草。」、「野焼き・稲わら焼き。」、「自然災害への対策。」など15件挙げられました。

表 2

	項目	N=551	回答数	回答率
1	12 大雨、大雪などの異常気象		432	78.4%
2	1 地球温暖化など地球規模の環境問題		296	53.7%
3	13 空き家、空き地、耕作放棄地などの未利用地の増加		274	49.7%
4	2 ごみや産業廃棄物の処理やリサイクル		268	48.6%
5	8 太陽光や風力など自然エネルギーの活用		253	45.9%
6	3 大気汚染、水質汚濁、悪臭、騒音、振動などの公害問題		235	42.6%
7	4 公園や街並みの整備などゆとりと潤いのある環境の創出		230	41.7%
8	5 豊かな自然環境の保全		217	39.4%
9	11 不法投棄など廃棄物の不適正処理		202	36.7%
10	9 人と自然が共生する快適環境の創造		168	30.5%
11	10 有害化学物質や環境ホルモンなどによる環境汚染		156	28.3%
12	7 貴重な野生動植物の保護		112	20.3%
13	6 身近な生きものの保全		109	19.8%
14	14 その他		15	2.7%
	無回答		8	1.5%
	計		2,975	539.8%

図 2



問3 秋田市の環境像についてお伺いします。

設問内容

問3 望ましい秋田市の環境像についてお伺いします。

将来の秋田市の環境に対してどのような姿を望みますか。

次の中からあてはまるもの5つ以内に○をつけてください。

- 1 大気汚染、水質汚濁、騒音、振動、悪臭などの公害のないまち
- 2 自然環境が保全され生きものともふれあえるまち
- 3 公園、街路樹など市街地の緑が豊かなまち
- 4 身近に林や田園風景が広がっているまち
- 5 海や川などきれいな水辺環境に親しめるまち
- 6 歴史的・文化的資源が残された、雰囲気のあるまち
- 7 ごみの減量やリサイクル、適正処理に積極的に取り組むまち
- 8 省エネルギーや風力・太陽光など自然エネルギーの利用に率先して取り組むまち
- 9 地球温暖化対策など地球規模の課題にも率先して取り組むまち
- 10 事業者や市民のモラルが高く、皆が一体となって環境問題に取り組むまち
- 11 周囲の環境に積極的に配慮しながら、都市づくりをすすめるまち
- 12 その他（具体的に_____）

解析結果

望ましい秋田市の環境像では、「大気汚染、水質汚濁、騒音、振動、悪臭などの公害のないまち」が6割以上で最も高い回答となりました。次いで「公園、街路樹など市街地の緑が豊かなまち」、「海や川などきれいな水辺環境に親しめるまち」も5割を超えています。【表3参照】

一方、「身近に林や田園風景が広がっているまち」が2割以下の低い回答でした。

前回調査と比べると、「海や川などきれいな水辺環境に親しめるまち」が、前回調査9位(18.1%)から今回調査3位(50.1%)に32.0ポイント上昇し大きく変化したほか、「歴史的・文化的資源が残された、雰囲気のあるまち」が11.3ポイント上昇、「自然環境が保全され生きものともふれあえるまち」が14.9ポイント上昇しクローズアップされてきました。

年齢別に高い回答項目をみると、「大気汚染、水質汚濁、騒音、振動、悪臭などの公害のないまち」、「公園、街路樹など市街地の緑が豊かなまち」、「海や川などきれいな水辺環境に親しめるまち」が、ほぼ全ての世代で上位3位となっています。

「その他」には、「風力、太陽光発電設備の景観に配慮があり一定のルールがなされた上での発展された都市」、「森がすべて杉林にならないまち。」など、16件挙げられました。

表 3①

	項目	N=551	回答数	回答率
1	1	大気汚染、水質汚濁、騒音、振動、悪臭などの公害のないまち	352	63.9%
2	3	公園、街路樹など市街地の緑が豊かなまち	309	56.1%
3	5	海や川などきれいな水辺環境に親しめるまち	276	50.1%
4	6	歴史的・文化的資源が残された、雰囲気のあるまち	199	36.1%
5	10	事業者や市民のモラルが高く、皆が一体となって環境問題に取り組むまち	199	36.1%
6	7	ごみの減量やリサイクル、適正処理に積極的に取り組むまち	187	33.9%
7	8	省エネルギーや風力・太陽光など自然エネルギーの利用に率先して取り組むまち	168	30.5%
8	11	周囲の環境に積極的に配慮しながら、都市づくりをすすめるまち	147	26.7%
9	2	自然環境が保全され生きものともふれあえるまち	136	24.7%
10	9	地球温暖化対策など地球規模の課題にも率先して取り組むまち	122	22.1%
11	4	身近に林や田園風景が広がっているまち	92	16.7%
12	12	その他	16	2.9%
		無回答	8	1.5%
		計	2,211	401.3%

図 3①

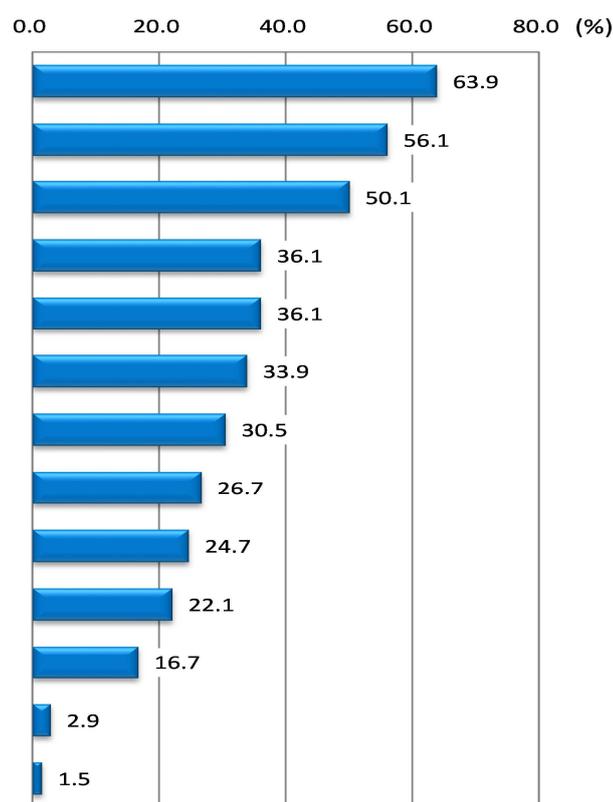


表 3② 前回調査比較

	項目	今回 N=551	前回 N=419	
1	1	大気汚染、水質汚濁、騒音、振動、悪臭などの公害のないまち	63.9%	45.8%
2	3	公園、街路樹など市街地の緑が豊かなまち	56.1%	38.2%
3	5	海や川などきれいな水辺環境に親しめるまち	50.1%	18.1%
4	6	歴史的・文化的資源が残された、雰囲気のあるまち	36.1%	24.8%
5	10	事業者や市民のモラルが高く、皆が一体となって環境問題に取り組むまち	36.1%	31.3%
6	7	ごみの減量やリサイクル、適正処理に積極的に取り組むまち	33.9%	22.7%
7	8	省エネルギーや風力・太陽光など自然エネルギーの利用に率先して取り組むまち	30.5%	38.9%
8	11	周囲の環境に積極的に配慮しながら、都市づくりをすすめるまち	26.7%	20.3%
9	2	自然環境が保全され生きものともふれあえるまち	24.7%	9.8%
10	9	地球温暖化対策など地球規模の課題にも率先して取り組むまち	22.1%	20.5%
11	4	身近に林や田園風景が広がっているまち	16.7%	10.7%
12	12	その他	2.9%	1.4%
		無回答	1.5%	1.0%
		計	401.3%	283.5%

図 3② 同左

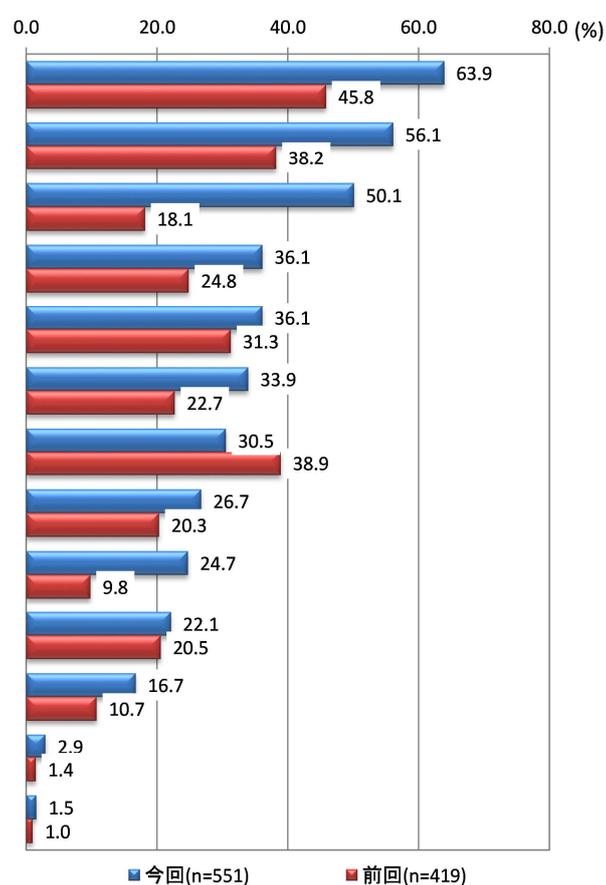
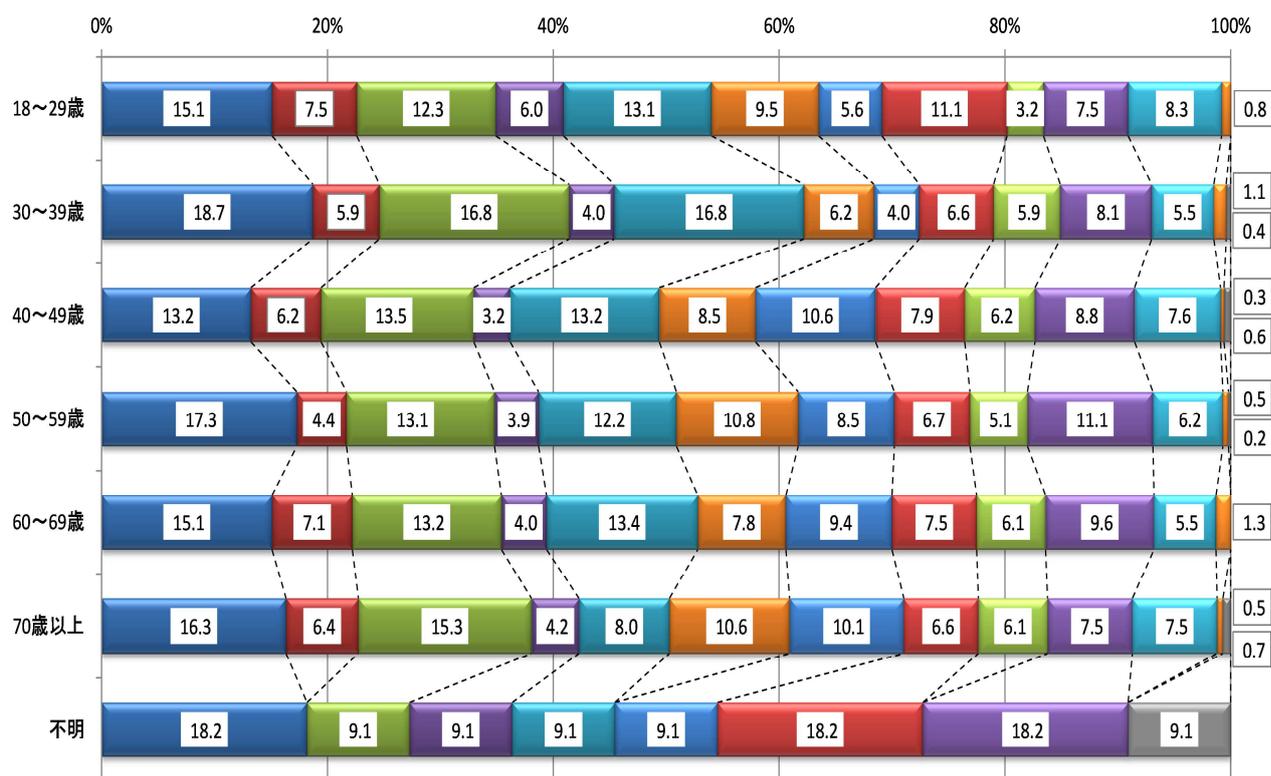


表 3③ 年齢別クロス



- 大気汚染、水質汚濁、騒音、振動、悪臭などの公害のないまち
- 公園、街路樹など市街地の緑が豊かなまち
- 海や川などきれいな水辺環境に親しめるまち
- ごみの減量やリサイクル、適正処理に積極的に取り組むまち
- 地球温暖化対策など地球規模の課題にも率先して取り組むまち
- 周囲の環境に積極的に配慮しながら、都市づくりをすすめるまち
- 無回答
- 自然環境が保全され生きものともふれあえるまち
- 身近に林や田園風景が広がっているまち
- 歴史的・文化的資源が残された、雰囲気のあるまち
- 省エネルギーや風力・太陽光など自然エネルギーの利用に率先して取り組むまち
- 事業者や市民のモラルが高く、皆が一体となって環境問題に取り組むまち
- その他

問4 秋田市の環境対策の仕組み・取組の変化についてお伺いします。

設問内容

問4 過去5年のうち、市民生活において環境への影響を少なくしようとする秋田市の仕組みや取組がどのように変化したと感じられるかお伺いします。あなたの感じている状況に近いものを1つだけ選んで○をつけてください。

- 1 環境への影響を少なくしようとする仕組みや取組が十分に行われている
- 2 環境への影響を少なくしようとする仕組みや取組が徐々に行われるようになってきている
- 3 以前と変わらない
- 4 環境への影響を少なくしようとする仕組みや取組が以前より悪くなっている
- 5 わからない

解析結果

秋田市の環境負荷低減の仕組みや取組の変化については、「徐々に行われるようになってきている」が35.9%で最も高い回答となりました。次いで「以前と変わらない」も30.5%の高い回答となりました。一方、「十分に行われている」と「以前より悪くなった」がともに3%以下の低い回答となりました。また、4人に1人にあたる25.2%が「わからない」と回答しています。

《満足である》と《不満である》を比較した満足度%評価では5.1Pの《満足側》となっています。【表4①参照】

前回調査との比較では、今回調査では、選択肢「わからない」が追加されたため単純比較はできませんが、「十分に行われている」と「以前より悪くなった」は増減が少なく、「徐々に行われるようになってきている」が18ポイント減少、「以前と変わらない」も7ポイント減少、合わせた25ポイント分が、今回調査の「わからない」の回答となっています。【図4②参照】

前回調査と今回調査を満足度評価で比較すると、今回調査が[3.05]、前回調査[3.19]で、今回調査の満足度が[0.14]低くなっています。【図4③参照】

「わからない」の回答が高い点については、市の情報発信のあり方が課題の一つになると考えられます。

表 4①

	項目	N=551	回答数	回答率
1	十分に行われている		13	2.4%
2	徐々に行われている		198	35.9%
3	以前と変わらない		168	30.5%
4	以前より悪くなった		15	2.7%
5	わからない		139	25.2%
	無回答		18	3.3%
	計		551	100.0%
A=1+2	満足である			38.3%
B=3+4	不満である			33.2%
C=A-B	満足ポイント			5.1

図 4①

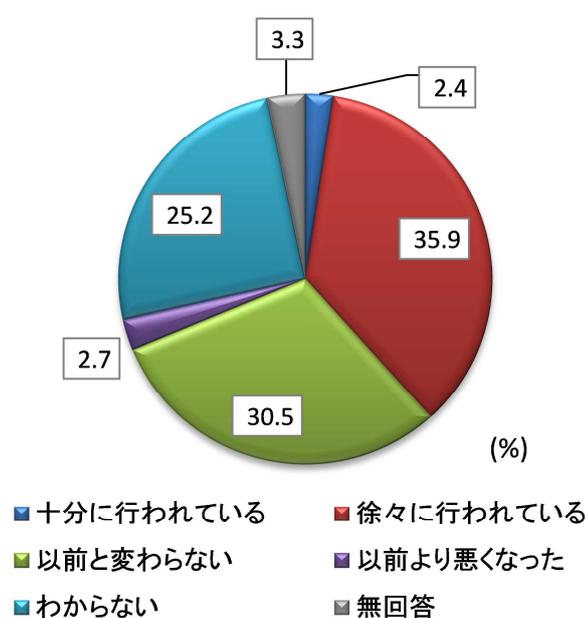


図 4② (前回調査比較)

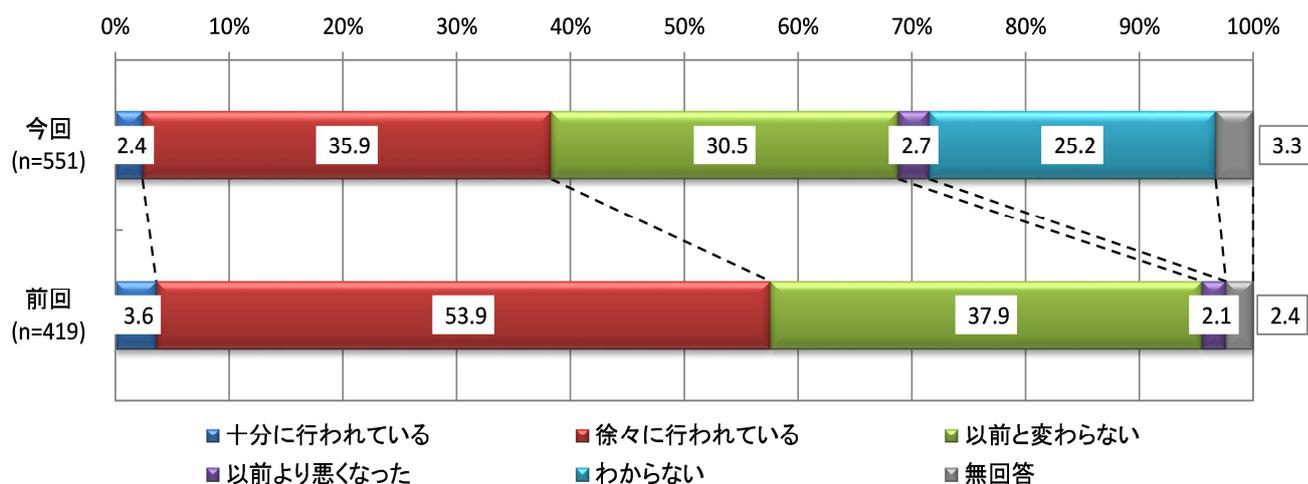


図 4③ (前回調査比較 満足度評価)

※満足度評価・・・回答数に点数をかけた合計を、設問の全回答数（無回答・わからない除く）で除したもの。
[2.5]を基準とし[4.0]に近づくほど満足度が高く[1.0]に近づくほど低いことを表します。



問5 環境への意識についてお伺いします。

設問内容

問5-1 日常生活で、環境への影響を少なくしようとするために実践していること、心がけていることはありますか。次の中からあてはまるもの全てに○をつけてください。

- 1 ごみ減量のため、詰め替え商品を選んで購入している
- 2 生ごみの水切りをしている
- 3 ごみの分別を徹底し、リサイクル資源として出せるものは資源ごみに出している
- 4 必要のない照明や見ていないテレビは消している
- 5 冷暖房を使用する際は、適正温度に設定している
- 6 夏季に室内温度を下げるために、自宅に緑のカーテン（日よけのための壁面緑化）を設置している
- 7 電気機器などは省エネタイプを選んで購入している
- 8 ソーラーシステムなどの自然エネルギー利用型施設を自宅に設置している
- 9 エコキュート、エコジョーズ、エコウィルなどの高効率給湯器を自宅に設置している
- 10 車の利用を控えるために、徒歩、自転車、バス、電車などを利用している
- 11 自動車はハイブリッド車などのエコカー（低燃費車）を使用している
- 12 環境保全のために、ボランティア活動などの地域活動をしている
- 13 環境関連のイベントに参加している
- 14 その他（具体的に_____）

解析結果

日常生活で実践している行動では、「ごみの分別を徹底し、リサイクル資源として出せるものは資源ごみに出している」、「ごみ減量のため、詰め替え商品を選んで購入している」、「必要のない照明や見ていないテレビは消している」の3項目が7割以上の高い回答となりました。次いで、「生ごみの水切りをしている」、「冷暖房を使用する際は、適正温度に設定している」の2項目も6割を超えています。6割を超えた上位5位までを見るとごみの分別、減量等3Rの取組が3項目、省エネ関連の取組が2項目を占めています。

一方、「環境関連のイベントに参加している」、「ソーラーシステムなどの自然エネルギー利用型施設を自宅に設置している」を実践している人は2%以下の低い回答となっています。

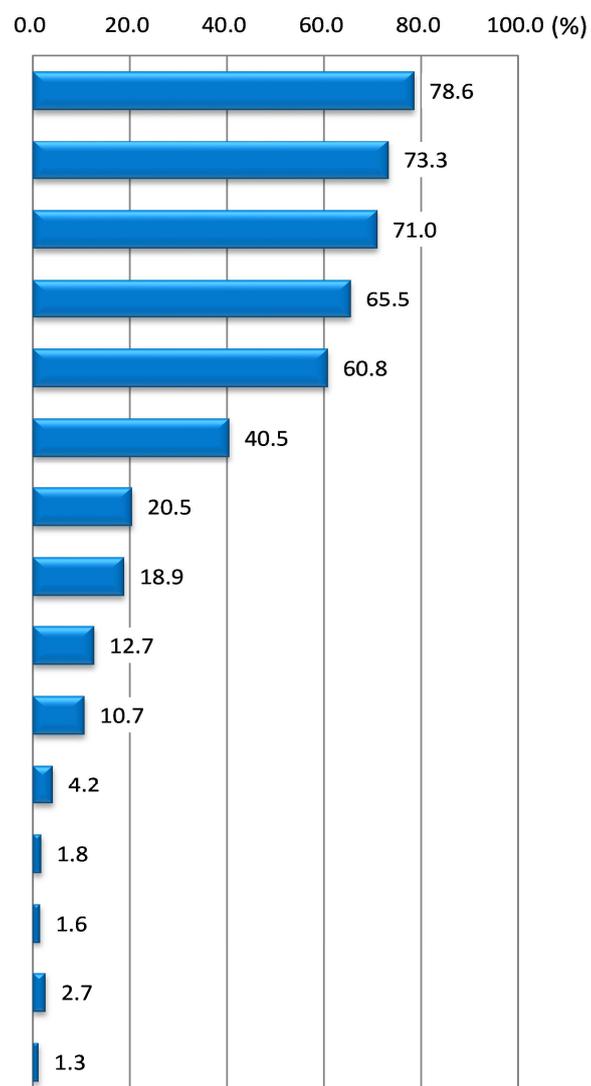
前回調査では、「エネルギーや資源の節約」が7割以上と高い回答を占めていましたが、今回調査では、ごみに関連する2項目が省エネ関連の項目より高い実践行動となりました。前回調査は、東日本大震災直後に実施したため省エネ関連の分野が多く実践されていたものと推測します。

「その他」には、「エコバックを利用してごみを減らす。」、「コンポストを活用し生ごみを減らしている。」、「LED照明への買い替え。」、「知人へ自家用車や営業車のタイヤの空気チェックや、オイル交換を促す。（排ガスを抑える為にメンテナンスを促す）」、「庭へ農薬は使わない。界面活性のシャンプーや洗剤は使わない。アクリルタワシでできるだけ洗剤は使わない。」などが15件挙げられました。

表 5-1

	項目	N=551	回答数	回答率
1	3	ごみの分別を徹底し、リサイクル資源として出せるものは資源ごみに出している	433	78.6%
2	1	ごみ減量のため、詰め替え商品を選んで購入している	404	73.3%
3	4	必要のない照明や見ていないテレビは消している	391	71.0%
4	2	生ごみの水切りをしている	361	65.5%
5	5	冷暖房を使用する際は、適正温度に設定している	335	60.8%
6	7	電気機器などは省エネタイプを選んで購入している	223	40.5%
7	10	車の利用を控えるために、徒歩、自転車、バス、電車などを利用している	113	20.5%
8	11	自動車はハイブリッド車などのエコカー（低燃費車）を使用している	104	18.9%
9	6	夏季に室内温度を下げるために、自宅に緑のカーテン（日よけのための壁面緑化）を設置している	70	12.7%
10	9	エコキュート、エコジョーズ、エコウィルなどの高効率給湯器を自宅に設置している	59	10.7%
11	12	環境保全のために、ボランティア活動などの地域活動をしている	23	4.2%
12	8	ソーラーシステムなどの自然エネルギー利用型施設を自宅に設置している	10	1.8%
13	13	環境関連のイベントに参加している	9	1.6%
14	14	その他	15	2.7%
		無回答	7	1.3%
		計	2,557	464.1%

図 5-1



設問内容

問5-2 あなたが思う環境への影響を少なくする取組と生活利便性の関係についてお伺いします。
次の中から1つだけ選んで○をつけてください。

- 1 環境への影響を少なくするためには、多少不便になってもやむをえない
- 2 今の生活利便性を維持し、可能な範囲で環境への影響を少なくする取組を行う
- 3 生活利便性を優先し、環境への影響についてはあまり考えない
- 4 その他（具体的に_____）

解析結果

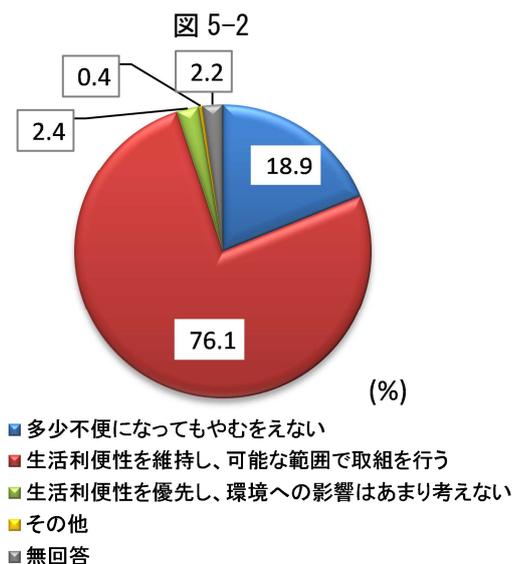
取組と生活利便性の関係については、「環境への影響を少なくするためには、多少不便になってもやむをえない」が約2割の回答となりました。また、「生活利便性を優先し、環境への影響についてはあまり考えない」は2.4%の低い回答にとどまっています。

一方で、「今の生活利便性を維持し、可能な範囲で環境への影響を少なくする取組を行う」が7割以上の高い回答を占めており、現在の利便性の維持を重要なものと考えています。

「その他」には、「省エネの電気機器を使うなど、利便性も向上しつつ環境への影響を少なくする。」「自分の家で燃やせるの燃やしたいです。」という回答が2件挙げられました。

表5-2

項目	N=551	回答数	回答率
1 環境への影響を少なくするためには、多少不便になってもやむをえない		104	18.9%
2 今の生活利便性を維持し、可能な範囲で環境への影響を少なくする取組を行う		420	76.1%
3 生活利便性を優先し、環境への影響についてはあまり考えない		13	2.4%
4 その他		2	0.4%
無回答		12	2.2%
計		551	100.0%



問6 環境への影響を少なくする取組についてお伺いします。

設問内容

問6-1 現在、環境のことを考えてどのような取組をされていますか。

次の中からあてはまるもの全てに○をつけてください。

- | | |
|-----------------------|--------------------------|
| 1 使い捨てのものは買わない | 2 買物袋を持参し、レジ袋を辞退する |
| 3 不要品は譲り合う、バザーに出す | 4 省エネルギー型の家電製品を買う |
| 5 エネルギーの節約を心がける | 6 太陽熱温水機や発電システムを設定する |
| 7 近くへは自動車を使わないようにする | 8 エコカー（低燃費車）を利用している |
| 9 エコドライブに心がける | 10 騒音を出さないように気を付ける |
| 11 食器の油污れなどを古紙などで拭き取る | 12 詰め替え式のものを買うようにする |
| 13 ごみの分別収集に積極的に協力する | 14 缶・ビン、新聞、雑誌などはリサイクルに出す |
| 15 トイレットペーパーなどは再生品を買う | 16 生ごみは堆肥（肥料）にする |
| 17 エコマーク商品を買う（使う） | 18 風呂の残り湯で洗濯、打ち水、洗車する |
| 19 雨水を植木の水やりなどに利用する | 20 庭やベランダなどで花木を育てる |
| 21 野焼きをしないようにしている | 22 いずれも行っていない、又は、できない |
| 23 その他（具体的に_____） | |

解析結果

現在の取組としては、「缶・ビン、新聞、雑誌などはリサイクルに出す」が8割以上と最も高く、次いで「ごみの分別収集に積極的に協力する」、「詰め替え式のものを買うようにする」が7割を超えていて、多くの市民がごみの分別、減量に取り組んでいます。

また、「エネルギーの節約を心がける」も5割を超えており、東日本大震災以降の節電への取組が継続されています。

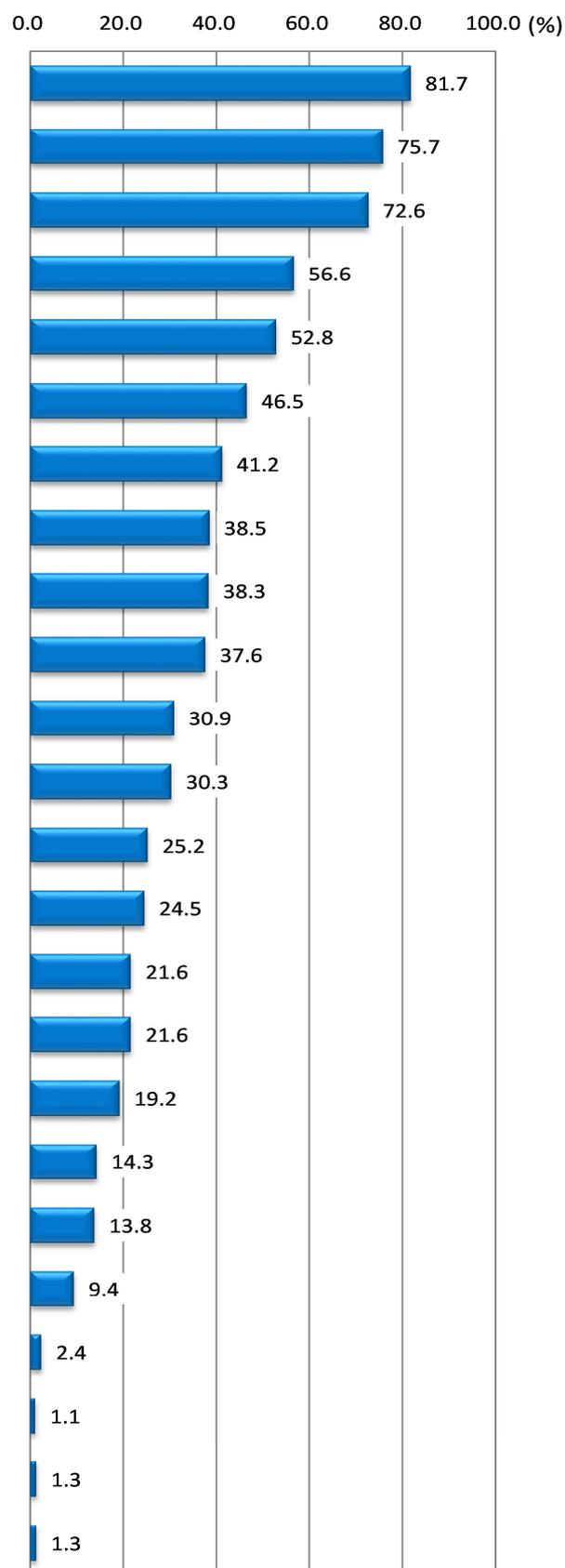
一方で、「太陽熱温水機や発電システムを設定する」は2.4%の低い回答となり、経費を伴う取組が少ない状況となっています。

「その他」には、「生ごみを出さないため食材を食べきる努力をする。」、「家電は、20年以上購入なし。ずっと使い続けるようにしている。」という回答などが7件挙げられました。

表 6-1

	項目	N=551	回答数	回答率
1	14 缶・ビン、新聞、雑誌などはリサイクルに出す		450	81.7%
2	13 ごみの分別収集に積極的に協力する		417	75.7%
3	12 詰め替え式のものを買うようにする		400	72.6%
4	2 買物袋を持参し、レジ袋を辞退する		312	56.6%
5	5 エネルギーの節約を心がける		291	52.8%
6	20 庭やベランダなどで花木を育てる		256	46.5%
7	15 トイレトペーパーなどは再生品を買う		227	41.2%
8	4 省エネルギー型の家電製品を買う		212	38.5%
9	10 騒音を出さないように気を付ける		211	38.3%
10	18 風呂の残り湯で洗濯、打ち水、洗車する		207	37.6%
11	9 エコドライブに心がける		170	30.9%
12	11 食器の油污れなどを古紙などで拭き取る		167	30.3%
13	7 近くへは自動車を使わないようにする		139	25.2%
14	21 野焼きをしないようにしている		135	24.5%
15	3 不要品は譲り合う、バザーに出す		119	21.6%
16	8 エコカー（低燃費車）を利用している		119	21.6%
17	1 使い捨てのものは買わない		106	19.2%
18	19 雨水を植木の水やりなどに利用する		79	14.3%
19	17 エコマーク商品を買う（使う）		76	13.8%
20	16 生ごみは堆肥（肥料）にする		52	9.4%
21	6 太陽熱温水機や発電システムを設定する		13	2.4%
22	22 いずれも行っていない、又は、できない		6	1.1%
23	23 その他		7	1.3%
	無回答		7	1.3%
	計		4,178	758.4%

図 6-1



設問内容

問6-2 現在は取り組んでいないが、将来、環境についてどのような取組ができると思いますか。
次の中からあてはまるもの全てに○をつけてください。

- | | |
|-----------------------|--------------------------|
| 1 使い捨てるものは買わない | 2 買物袋を持参し、レジ袋を辞退する |
| 3 不要品は譲り合う、バザーに出す | 4 省エネルギー型の家電製品を買う |
| 5 エネルギーの節約を心がける | 6 太陽熱温水機や発電システムを設定する |
| 7 近くへは自動車を使わないようにする | 8 エコカー（低燃費車）を利用している |
| 9 エコドライブに心がける | 10 騒音を出さないように気を付ける |
| 11 食器の油汚れなどを古紙などで拭き取る | 12 詰め替え式のものを買うようにする |
| 13 ごみの分別収集に積極的に協力する | 14 缶・ビン、新聞、雑誌などはリサイクルに出す |
| 15 トイレットペーパーなどは再生品を買う | 16 生ごみは堆肥（肥料）にする |
| 17 エコマーク商品を買う（使う） | 18 風呂の残り湯で洗濯、打ち水、洗車する |
| 19 雨水を植木の水やりなどに利用する | 20 庭やベランダなどで花木を育てる |
| 21 野焼きをしないようにしている | 22 いずれも行っていない、又は、できない |
| 23 その他（具体的に_____） | |

解析結果

将来実践したい取組の上位としては、「省エネルギー型の家電製品を買う」が27.9%で最も高く、次いで「エコマーク商品を買う（使う）」、「近くへは自動車を使わないようにする」、「不要品は譲り合う、バザーに出す」が同じく2割台の回答で続いています。

一方、「缶・ビン、新聞、雑誌などはリサイクルに出す」、「ごみの分別収集に積極的に協力する」は、5%前後の低い回答となっています。【表6-2①】

また、問6-1と問6-2回答を積み上げてみると、市民の環境行動がごみの分別、減量等3Rの取組と、省エネ関連の取組が上位を占める傾向となっていることがうかがえました。

【表6-2③参照】

「その他」には、「車は必需品である。」、「利便性の良い場所に引っ越してなるべく自転車を使いたい。」、「公共バスの便数や最終時刻の延長要望。」、「バザーに出品したいがバザーが少ない。」という回答などが6件挙げられました。

表 6-2①

	項目	N=551	回答数	回答率
1	4 省エネルギー型の家電製品を買う		154	27.9%
2	17 エコマーク商品を買う（使う）		149	27.0%
3	7 近くへは自動車を使わないようにする		127	23.0%
4	2 買物袋を持参し、レジ袋を辞退する		126	22.9%
5	3 不要品は譲り合う、バザーに出す		124	22.5%
6	5 エネルギーの節約を心がける		119	21.6%
7	8 エコカー（低燃費車）を利用している		117	21.2%
8	1 使い捨てるものは買わない		109	19.8%
9	19 雨水を植木の水やりなどに利用する		109	19.8%
10	15 トイレペーパーなどは再生品を買う		95	17.2%
11	11 食器の油污れなどを古紙などで拭き取る		92	16.7%
12	16 生ごみは堆肥（肥料）にする		90	16.3%
13	9 エコドライブに心がける		86	15.6%
14	6 太陽熱温水機や発電システムを設定する		77	14.0%
15	18 風呂の残り湯で洗濯、打ち水、洗車する		65	11.8%
16	12 詰め替え式のものを買うようにする		58	10.5%
17	10 騒音を出さないように気を付ける		54	9.8%
18	20 庭やベランダなどで花木を育てる		49	8.9%
19	14 缶・ビン、新聞、雑誌などはリサイクルに出す		35	6.4%
20	13 ごみの分別収集に積極的に協力する		29	5.3%
21	21 野焼きをしないようにしている		21	3.8%
22	22 いずれも行っていない、又は、できない		4	0.7%
23	その他		6	1.1%
	無回答		40	7.3%
	計		1,935	351.1%

図 6-2①

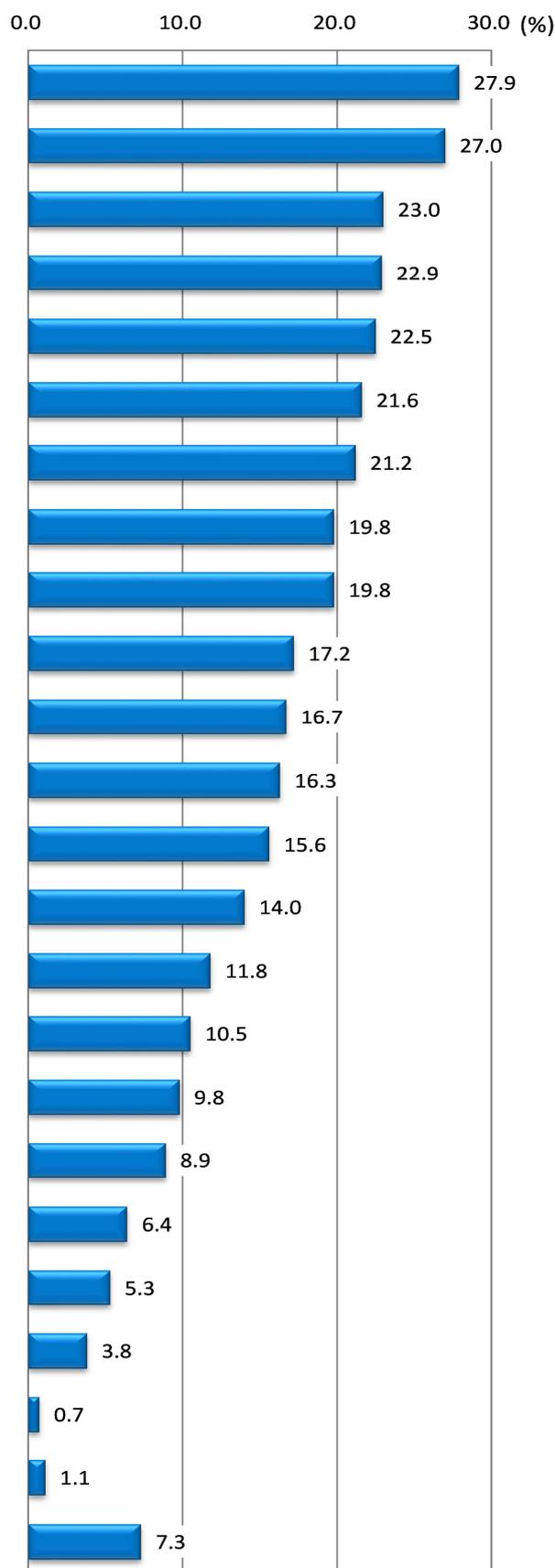


表 6-2② (問 6-1, 問 6-2 比較)

	項目	N=551	問6-1	問6-2
1	14 缶・ビン、新聞、雑誌などはリサイクルに出す		81.7%	6.4%
2	13 ごみの分別収集に積極的に協力する		75.7%	5.3%
3	12 詰め替え式のものを買うようにする		72.6%	10.5%
4	2 買物袋を持参し、レジ袋を辞退する		56.6%	22.9%
5	5 エネルギーの節約を心がける		52.8%	21.6%
6	20 庭やベランダなどで花木を育てる		46.5%	8.9%
7	15 トイレトペーパーなどは再生品を買う		41.2%	17.2%
8	4 省エネルギー型の家電製品を買う		38.5%	27.9%
9	10 騒音を出さないように気を付ける		38.3%	9.8%
10	18 風呂の残り湯で洗濯、打ち水、洗車する		37.6%	11.8%
11	9 エコドライブに心がける		30.9%	15.6%
12	11 食器の油污れなどを古紙などで拭き取る		30.3%	16.7%
13	7 近くへは自動車を使わないようにする		25.2%	23.0%
14	21 野焼きをしないようにしている		24.5%	3.8%
15	3 不要品は譲り合う、バザーに出す		21.6%	22.5%
16	8 エコカー（低燃費車）を利用している		21.6%	21.2%
17	1 使い捨てのものは買わない		19.2%	19.8%
18	19 雨水を植木の水やりなどに利用する		14.3%	19.8%
19	17 エコマーク商品を買う（使う）		13.8%	27.0%
20	16 生ごみは堆肥（肥料）にする		9.4%	16.3%
21	6 太陽熱温水機や発電システムを設定する		2.4%	14.0%
22	22 いずれも行っていない、又は、できない		1.1%	0.7%
23	その他		1.3%	1.1%
	無回答		1.3%	7.3%
	計		758.4%	351.1%

図 6-2②

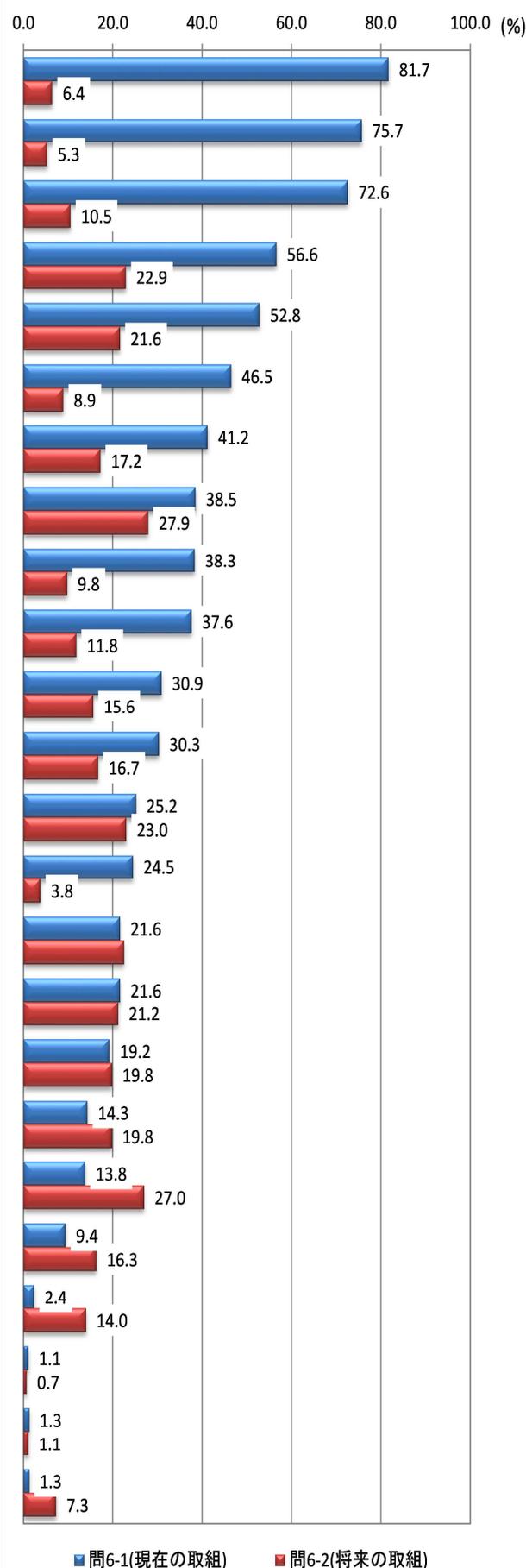
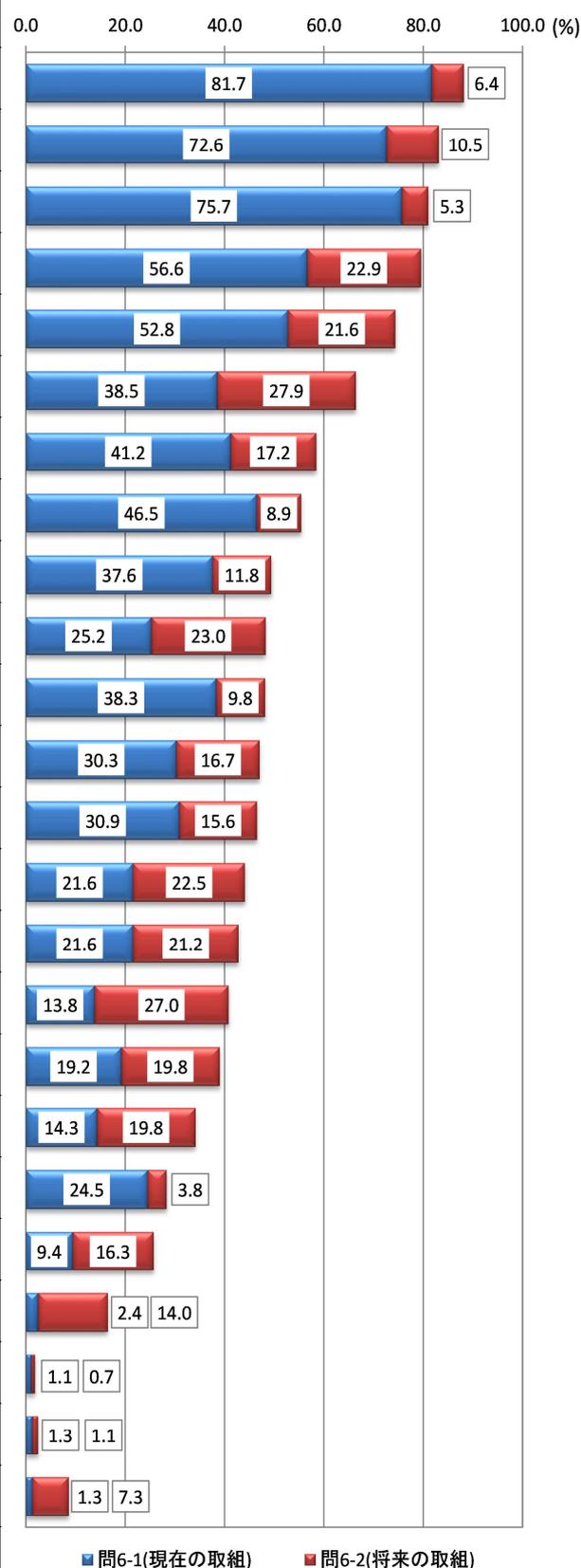


表 6-2③ (問 6-1, 問 6-2 積上げ)

	項目	N=551	問6-1	問6-2
1	14 缶・ビン、新聞、雑誌などはリサイクルに出す		81.7%	6.4%
2	12 詰め替え式のものを買うようにする		72.6%	10.5%
3	13 ごみの分別収集に積極的に協力する		75.7%	5.3%
4	2 買物袋を持参し、レジ袋を辞退する		56.6%	22.9%
5	5 エネルギーの節約を心がける		52.8%	21.6%
6	4 省エネルギー型の家電製品を買う		38.5%	27.9%
7	15 トイレトペーパーなどは再生品を買う		41.2%	17.2%
8	20 庭やベランダなどで花木を育てる		46.5%	8.9%
9	18 風呂の残り湯で洗濯、打ち水、洗車する		37.6%	11.8%
10	7 近くへは自動車を使わないようにする		25.2%	23.0%
11	10 騒音を出さないように気を付ける		38.3%	9.8%
12	11 食器の油汚れなどを古紙などで拭き取る		30.3%	16.7%
13	9 エコドライブに心がける		30.9%	15.6%
14	3 不要品は譲り合う、バザーに出す		21.6%	22.5%
15	8 エコカー（低燃費車）を利用している		21.6%	21.2%
16	17 エコマーク商品を買う（使う）		13.8%	27.0%
17	1 使い捨てのものは買わない		19.2%	19.8%
18	19 雨水を植木の水やりなどに利用する		14.3%	19.8%
19	21 野焼きをしないようにしている		24.5%	3.8%
20	16 生ごみは堆肥（肥料）にする		9.4%	16.3%
21	6 太陽熱温水機や発電システムを設定する		2.4%	14.0%
22	22 いずれも行っていない、又は、できない		1.1%	0.7%
23	その他		1.3%	1.1%
	無回答		1.3%	7.3%
	計		758.4%	351.1%

図 6-2③



問7 環境関連活動への参加についてお伺いします。

設問内容

問7-1 あなたは環境関連活動（地域や町内会の清掃活動を含む。）に参加したことがありますか。
次の中から1つだけ選んで○をつけてください。

- 1 参加したことがある
- 2 今後参加したいと思う
- 3 参加したことがない

解析結果

環境関連活動への参加については、約6割が環境活動に「参加したことがある」と回答していますが、約3割が環境活動（町内会清掃を含め）「参加したことがない」と回答しています。

また、「今後参加したいと思う」は7.3%で1割以下にとどまっています。【表7-1 参照】

年齢別にみると、「70歳以上」では約7割が参加しているのに対し、「20歳代」、「30歳代」では4割にとどまっています。

表7-1

項目	N=551	回答数	回答率
1 参加したことがある		321	58.2%
2 今後参加したいと思う		40	7.3%
3 参加したことがない		180	32.7%
無回答		10	1.8%
計		551	100.0%

図7-1①

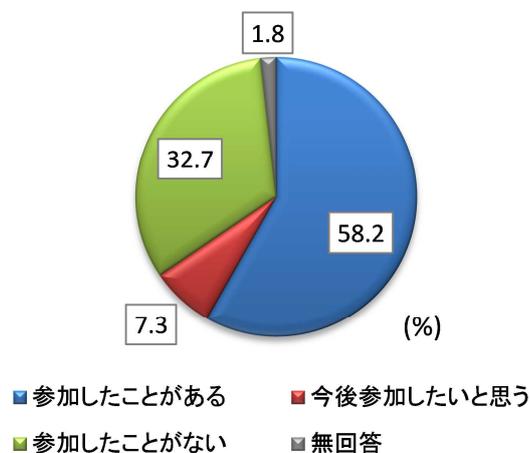
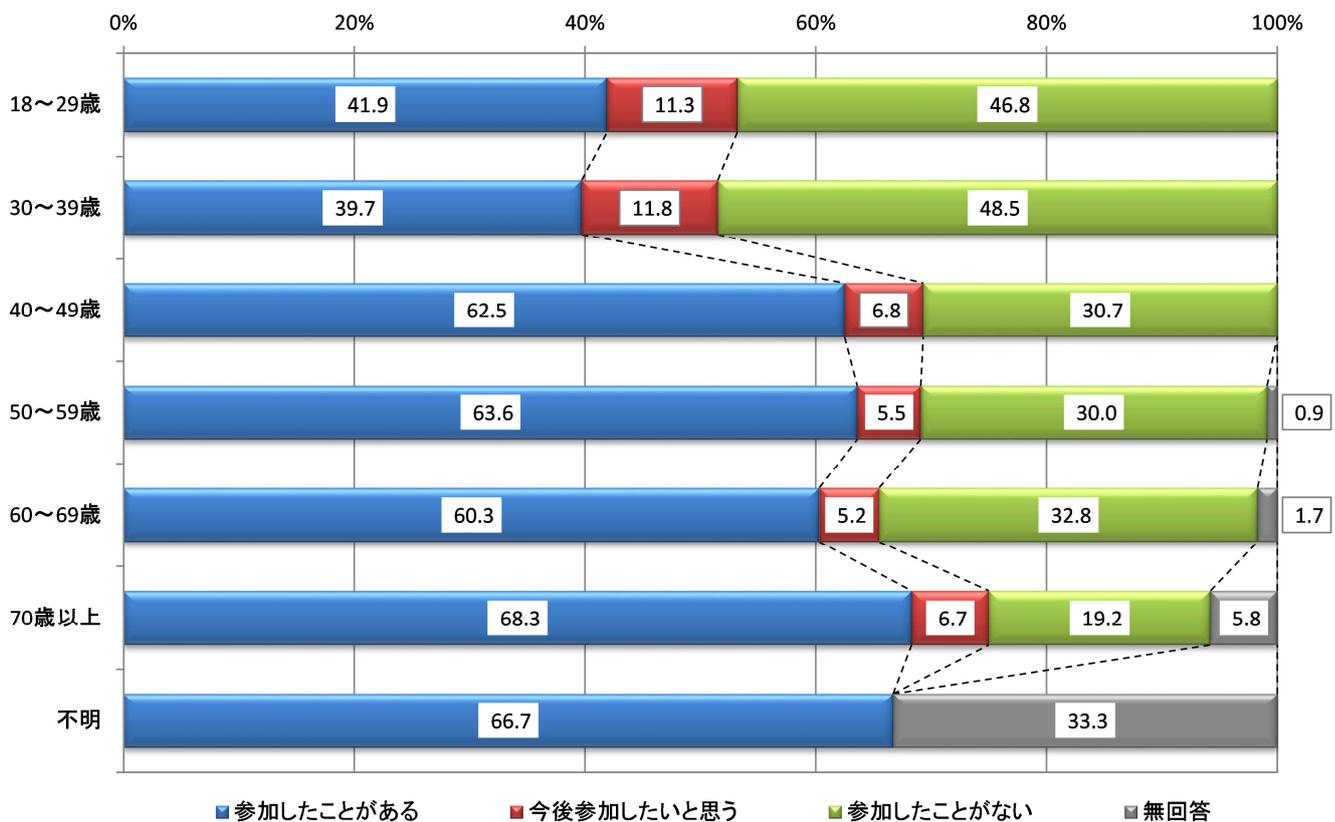


図 7-1②



設問内容

問7-2 前の質問7-1で「3 参加したことがない」を選んだ方にお伺いします。
環境関連活動に参加することについてどう思いますか。
次の中から1つだけ選んで○をつけてください。

- 1 興味があるので、機会があれば参加したい
- 2 興味はあるが、参加しようとは思わない
- 3 参加しようとは思わない

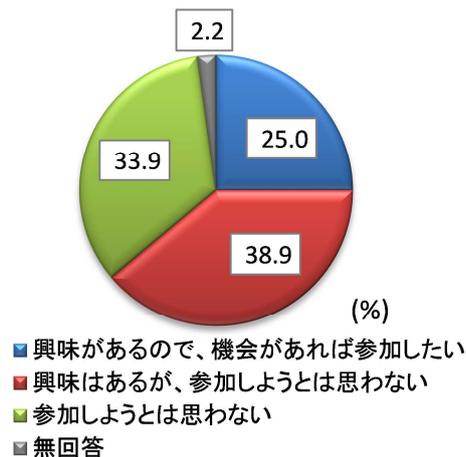
解析結果

前問で「参加したことがない」と回答した180人に、環境活動に参加についてたずねたところ「興味があるので、機会があれば参加したい」が25.0%にとどまり、無回答を除いて残り72.8%が「興味はあるが、参加しようとは思わない」、「参加しようとは思わない」の回答となります。

表 7-2

項目	N=180	回答数	回答率
1 興味があるので、機会があれば参加したい		45	25.0%
2 興味はあるが、参加しようとは思わない		70	38.9%
3 参加しようとは思わない		61	33.9%
無回答		4	2.2%
計		180	100.0%

図 7-2



設問内容

問7-3 前の質問7-2で「2 興味はあるが、参加しようとは思わない」又は「3 参加しようとは思わない」を選んだ方にお伺いします。その理由はなんですか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。

- 1 身近なところに活動団体がない
- 2 活動団体を知らない
- 3 参加する時間がない
- 4 一緒に活動する知り合いがない
- 5 興味がない
- 6 参加したいが、活動情報を得る手段がない
- 7 その他（具体的に_____）

解析結果

前問で「興味はあるが、参加しようとは思わない」、「参加しようとは思わない」と回答した131人に、参加しようとは思わない理由をたずねたところ、最も多かった理由は「参加する時間がない」が約4割で最も高く、次いで「活動団体を知らない」、「興味がない」が2割以下の回答で続いています。【表7-3参照】

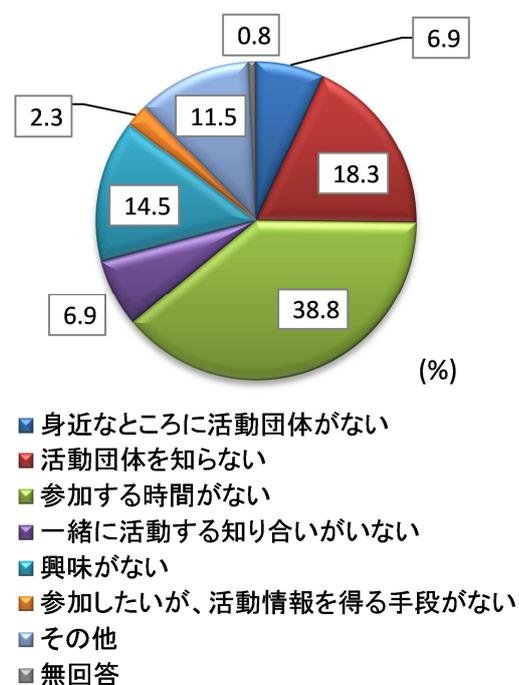
環境活動の推進には、環境活動に関する情報提供が課題と考えられます。

「その他」には、「高齢のため。」「持病があるから。」など高齢・体調不調の理由が11件（主に70歳以上）と「面倒だから。」「仕事以外の休日は、ゆっくり休みたい。」「会社で参加しているから、地域では参加していない。」（20代）という回答などが15件挙げられました。

表7-3

項目	N=131	回答数	回答率
1 身近なところに活動団体がない		9	6.9%
2 活動団体を知らない		24	18.3%
3 参加する時間がない		51	38.8%
4 一緒に活動する知り合いがない		9	6.9%
5 興味がない		19	14.5%
6 参加したいが、活動情報を得る手段がない		3	2.3%
7 その他		15	11.5%
無回答		1	0.8%
計		131	100.0%

図7-3



問 8 市の情報発信についてお伺いします。**設 問 内 容**

問 8 - 1 市が行っている環境関連の情報発信について満足していますか。
次の中から1つだけ選んで○をつけてください。

- 1 満足している
- 2 やや満足している
- 3 やや不満である
- 4 不満である
- 5 どちらともいえない

解 析 結 果

秋田市の情報発信に対する満足度%評価では、「満足している」と「やや満足している」を合わせた《満足である》が約4割で、「不満である」と「やや不満である」を合わせた《不満である》のおよそ2倍の回答となり、満足ポイントは18.2Pとなっています。【表 8-1①参照】

年齢別にみますと「70歳以上」の満足ポイント43.2Pが最も高く、次いで、(18歳～を含む)「20歳代」が27.4P、「30歳代」が16.1Pと続き、「40歳代」が△4.6Pで《不満側》となっています。【表 8-1③参照】

また、約4割が「どちらともいえない」と回答したことについては、“ふつう”と捉えて集計していますが、その中には「評価できない、又は、判断できない」という声が含まれていることを考慮すべきと考えます。

その理由としては、①前問4「過去5年の秋田市の仕組みや取組がどのように変化」では、139人(25.2%)が「わからない」と回答しており、その中の92人が本設問で「どちらともいえない」と回答していること。【表 8-1②参照】②前問7-3「環境活動に参加しようと思わない理由」では、45人が「活動団体を知らない」、「参加したいが活動情報を得る手段がない」と回答していること【表 7-3 参照】が挙げられます。

表 8-1①

	項目	N=551	回答数	回答率
1	満足している		46	8.3%
2	やや満足している		154	27.9%
3	やや不満である		70	12.7%
4	不満である		29	5.3%
5	どちらともいえない		236	42.9%
	無回答		16	2.9%
	計		551	100.0%
A=1+2	《満足である》			36.2%
B=3+4	《不満である》			18.0%
C=A-B	満足ポイント			18.2

図 8-1

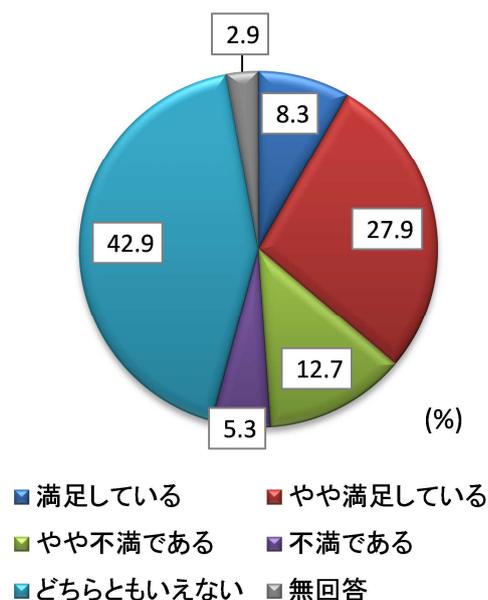
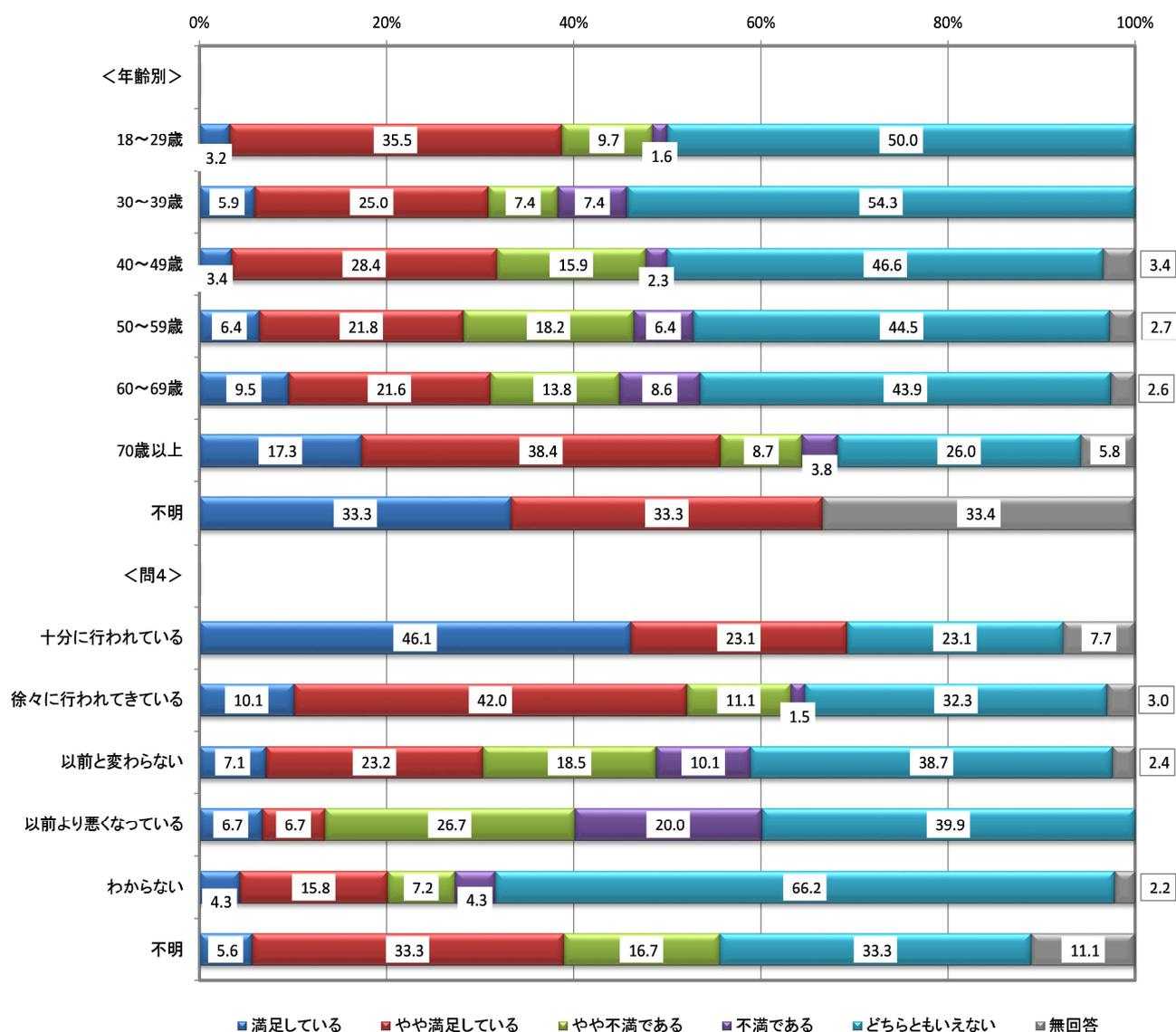


表 8-1② (問 4 過去 5 年の秋田市の仕組みや取組がどのように変化との関係)

		選択肢	1	2	3	4	5		A=1+2	B=3+4	C=A-B
		合計	満足している	やや満足している	やや不満である	不満である	どちらともいえない	無回答	満足である	不満である	満足ポイント
合計		551	46	154	70	29	236	16	36.2%	18.0%	18.2
性別	1. 男性	224	14	65	30	15	91	9	35.3%	20.1%	15.2
	2. 女性	323	31	88	40	14	144	6	36.8%	16.7%	20.1
	不明	4	1	1	-	-	1	1	50.0%	-	50.0
		100.0%	25.0%	25.0%			25.0%	25.0%			
年齢	1. 18歳～29歳	62	2	22	6	1	31	-	38.7%	11.3%	27.4
	2. 30歳～39歳	68	4	17	5	5	37	-	30.9%	14.8%	16.1
	3. 40歳～49歳	88	3	25	14	2	41	3	13.6%	18.2%	△ 4.6
	4. 50歳～59歳	110	7	24	20	7	49	3	28.2%	24.6%	3.6
	5. 60歳～69歳	116	11	25	16	10	51	3	31.1%	22.4%	8.7
	6. 70歳以上	104	18	40	9	4	27	6	55.7%	12.5%	43.2
	不明	3	1	1	-	-	-	1	66.6%	-	66.6
		100.0%	33.3%	33.3%				33.4%			
地区	1. 中央地区	111	8	32	14	6	48	3	36.0%	18.0%	18.0
	2. 東部地区	90	6	25	14	5	36	4	34.5%	21.2%	13.3
	3. 西部地区	69	6	19	6	2	35	1	36.2%	11.6%	24.6
	4. 南部地区	84	4	23	10	2	42	3	32.2%	14.3%	17.9
	5. 北部地区	111	11	32	18	8	40	2	38.7%	23.4%	15.3
	6. 河辺地区	41	7	10	5	2	16	1	41.5%	17.1%	24.4
	7. 雄和地区	43	4	12	3	4	19	1	37.2%	16.3%	20.9
	不明	2	-	1	-	-	-	1	50.0%	-	50.0
	100.0%		50.0%				50.0%				
問4 や取組がどのように変化	1. 取組が十分に行われている	13	6	3	-	-	3	1	69.2%	-	69.2
	2. 取組が徐々に進んでいる	198	20	83	22	3	64	6	52.1%	12.6%	39.5
	3. 以前と変わらない	168	12	39	31	17	65	4	30.3%	28.6%	1.7
	4. 取組が以前より悪くなっている	15	1	1	4	3	6	-	13.4%	46.7%	△ 33.3
	5. わからない	139	6	22	10	6	92	3	20.1%	11.5%	8.6
	不明	18	1	6	3	-	6	2	38.9%	16.7%	22.2
	100.0%	5.6%	33.3%	16.7%			33.3%	11.1%			

図 8-1③ 年齢別クロス



設問内容

問8-2 市が行う環境関連の情報発信の方法は、どれが有効と思われますか。
次の中からあてはまるもの5つ以内に○をつけてください。

- 1 広報あきた
- 2 秋田市ホームページ
- 3 SNS（ツイッター、フェイスブックなど）
- 4 モバイルアプリケーション（環境情報アプリなど）
- 5 広報テレビ、ラジオ
- 6 秋田市民便利帳
- 7 ポスター・チラシ
- 8 市役所や公共施設などへの掲示
- 9 新聞
- 10 地域の掲示板や回覧板
- 11 地域での説明会や各種講座の開催
- 12 環境イベントなどの開催
- 13 フォーラムやシンポジウム、講演会の開催
- 14 その他（具体的に_____）

解析結果

市が行う効果的な情報発信方法として「広報あきた」が8割以上で最も高く、次いで「広報テレビ、ラジオ」、「新聞」が5割を超え上位3項目となっています。4位以下と1割以上の差が見られます。【表8-2①参照】

近年、利用が広がっている「SNS（ツイッター、フェイスブックなど）」や「モバイルアプリケーション（環境情報アプリなど）」については、「SNS（ツイッター、フェイスブックなど）」は約1割の回答ですが、年齢別構成で見ると「20歳代」では12.3%で上位3項目に続く4位の回答となっています。また、「30歳代」でも7.6%の回答があり、若い世代で利用が広がっています。【表8-2②参照】

一方、「モバイルアプリケーション（環境情報アプリなど）」は4.4%にとどまり、年齢別構成で見ると「20歳代」の2.4%が最も高い回答で、「30歳代」、「40歳代」と年代が上がるにつれて低くなる傾向となっていますが、回答者数では「50歳代」の8人が最も多く、若者以外にも普及する期待があります。【表8-2②参照】

表 8-2①

	項目	N=551	回答数	回答率
1	1 広報あきた		463	84.0%
2	5 広報テレビ、ラジオ		341	61.9%
3	9 新聞		304	55.2%
4	10 地域の掲示板や回覧板		187	33.9%
5	7 ポスター・チラシ		154	27.9%
6	2 秋田市ホームページ		147	26.7%
7	6 秋田市民便利帳		112	20.3%
8	12 環境イベントなどの開催		70	12.7%
9	3 SNS(ツイッター、フェイスブックなど)		63	11.4%
10	11 地域での説明会や各種講座の開催		48	8.7%
11	8 市役所や公共施設などへの掲示		47	8.5%
12	4 モバイルアプリケーション(環境情報アプリなど)		24	4.4%
13	13 フォーラムやシンポジウム、講演会の開催		21	3.8%
14	14 その他		1	0.2%
	無回答		8	1.5%
	計		1,990	361.1%

図 8-2①

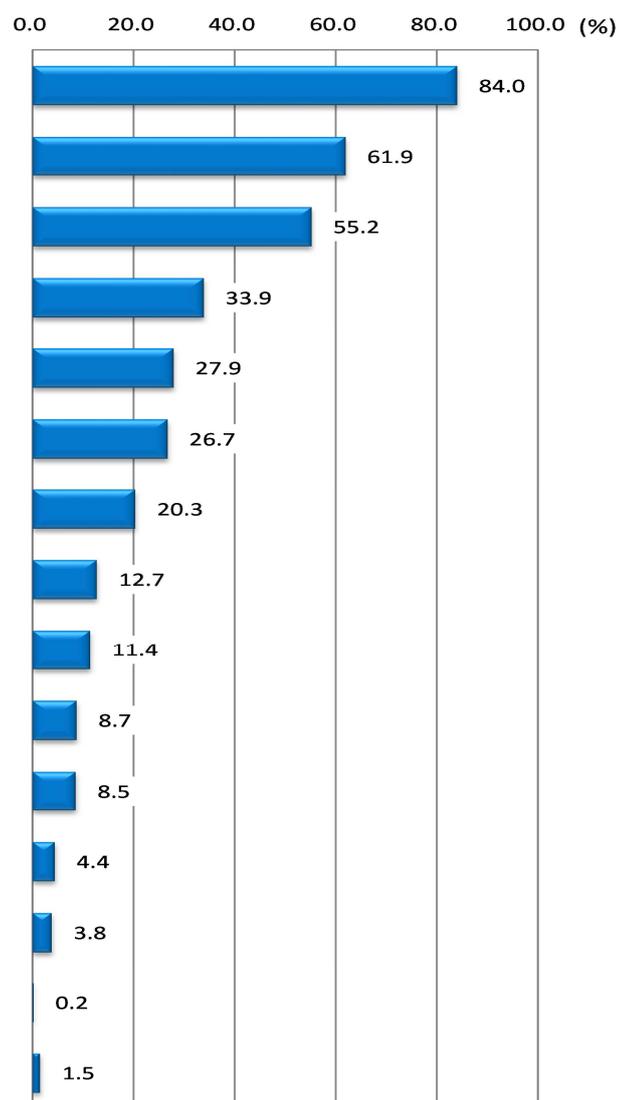
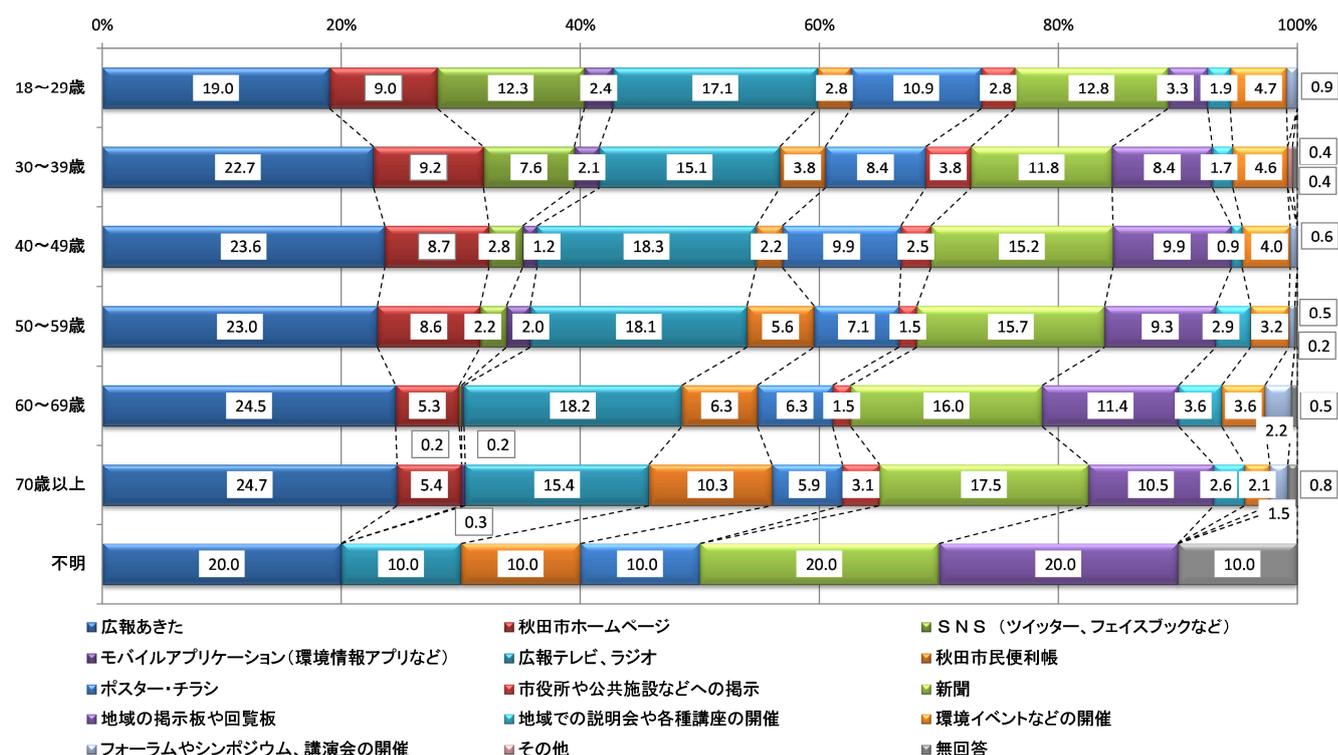


表 8-2②

	選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14		
	合計	広報あきた	秋田市ホームページ	SNS（ツイッター、フェイスブックなど）	モバイルアプリケーション（環境情報アプリなど）	広報テレビ、ラジオ	秋田市民便利帳	ポスター・チラシ	市役所や公共施設などへの掲示	新聞	地域の掲示板や回覧板	地域での説明会や各種講座の開催	環境イベントなどの開催	フォーラムやシンポジウム、講演会の開催	その他	無回答	
合計	1,990	463 23.3%	147 7.4%	63 3.2%	24 1.2%	341 17.1%	112 5.6%	154 7.7%	47 2.4%	304 15.3%	187 9.4%	48 2.4%	70 3.5%	21 1.1%	1 0.1%	8 0.4%	
性別	男性	823	186 22.6%	73 8.9%	26 3.2%	9 1.1%	144 17.5%	43 5.2%	63 7.7%	20 2.4%	118 14.3%	76 9.2%	23 2.8%	28 3.4%	8 1.0%	-	6 0.7%
	女性	1,153	274 23.8%	74 6.4%	37 3.2%	15 1.3%	195 16.9%	68 5.9%	89 7.7%	27 2.3%	183 15.9%	109 9.5%	25 2.2%	42 3.6%	13 1.1%	1 0.1%	1 0.1%
	不明	14	3 21.4%	-	-	-	2 14.3%	1 7.1%	2 14.3%	-	3 21.4%	2 14.3%	-	-	-	-	1 7.1%
年齢	18～29歳	211	40 19.0%	19 9.0%	26 12.3%	5 2.4%	36 17.1%	6 2.8%	23 10.9%	6 2.8%	27 12.8%	7 3.3%	4 1.9%	10 4.7%	2 0.9%	-	-
	30～39歳	238	54 22.7%	22 9.2%	18 7.6%	5 2.1%	36 15.1%	9 3.8%	20 8.4%	9 3.8%	28 11.8%	20 8.4%	4 1.7%	11 4.6%	-	1 0.4%	1 0.4%
	40～49歳	322	76 23.6%	28 8.7%	9 2.8%	4 1.2%	59 18.3%	7 2.2%	32 9.9%	8 2.5%	49 15.2%	32 9.9%	3 0.9%	13 4.0%	2 0.6%	-	-
	50～59歳	408	94 23.0%	35 8.6%	9 2.2%	8 2.0%	74 18.1%	23 5.6%	29 7.1%	6 1.5%	64 15.7%	38 9.3%	12 2.9%	13 3.2%	2 0.5%	-	1 0.2%
	60～69歳	412	101 24.5%	22 5.3%	1 0.2%	1 0.2%	75 18.2%	26 6.3%	26 6.3%	6 1.5%	66 16.0%	47 11.4%	15 3.6%	15 3.6%	9 2.2%	-	2 0.5%
	70歳以上	389	96 24.7%	21 5.4%	-	1 0.3%	60 15.4%	40 10.3%	23 5.9%	12 3.1%	68 17.5%	41 10.5%	10 2.6%	8 2.1%	6 1.5%	-	3 0.8%
	不明	10	2 20.0%	-	-	-	1 10.0%	1 10.0%	1 10.0%	-	2 20.0%	2 20.0%	-	-	-	-	1 10.0%
問8-1 環境関連の市情 （満足度の情報発信）	満足している	166	41 24.7%	12 7.2%	3 1.8%	1 0.6%	25 15.1%	17 10.2%	15 9.0%	6 3.6%	19 11.4%	19 11.4%	2 1.2%	2 1.2%	4 2.4%	-	-
	やや満足している	615	141 22.9%	47 7.6%	16 2.6%	6 1.0%	101 16.4%	46 7.5%	41 6.7%	19 3.1%	99 16.1%	56 9.1%	13 2.1%	23 3.7%	7 1.1%	-	-
	やや不満である	267	57 21.3%	21 7.9%	8 3.0%	7 2.6%	49 18.4%	13 4.9%	20 7.5%	6 2.2%	43 16.1%	20 7.5%	8 3.0%	8 3.0%	7 2.6%	-	-
	不満である	120	22 18.3%	7 5.8%	5 4.2%	1 0.8%	18 15.0%	3 2.5%	12 10.0%	3 2.5%	19 15.8%	12 10.0%	8 6.7%	9 7.5%	1 0.8%	-	-
	どちらともいえない	781	194 24.8%	58 7.4%	31 4.0%	9 1.2%	139 17.8%	31 4.0%	64 8.2%	11 1.4%	121 15.5%	74 9.5%	17 2.2%	27 3.5%	2 0.3%	1 0.1%	2 0.3%
	不明	41	8 19.5%	2 4.9%	-	-	9 22.0%	2 4.9%	2 4.9%	2 4.9%	3 7.3%	6 14.6%	-	1 2.4%	-	-	6 14.6%

図 8-2② 年齢別クロス集計



問9 市に期待する環境に関する施策についてお伺いします。

設問内容

問9 今後、市に期待する環境に関する施策は、どのようなものですか。

次の中からあてはまるもの5つ以内に○をつけてください。

- 1 環境施策に関する情報発信の充実
- 2 環境に関する広報活動、イベントなどの開催
- 3 法令や条例などによる規制や指導の強化
- 4 市有施設への積極的な環境対策の導入
- 5 環境に関する普及啓発施設の整備
- 6 市民の環境関連活動への物品提供、補助金などの支援
- 7 市民向け環境学習会の開催
- 8 学校での環境教育の充実
- 9 環境関連活動などに取り組む市民団体やグループへの支援
- 10 環境や生きものに関する調査・研究の推進
- 11 自然環境保全地区の指定や野生生物保護の推進
- 12 その他（具体的に_____）

解析結果

市に期待する施策としては、「学校での環境教育の充実」が52.3%で最も高く、次いで「環境施策に関する情報発信の充実」(50.3%)、「環境に関する広報活動、イベントなどの開催」(42.3%)となっており【表9①参照】、環境教育の充実、情報発信の充実、広報活動・イベント開催などは、前回調査から、それぞれ17.8ポイント、23.6ポイント、24.2ポイント上昇しています。【表9②参照】

年齢別にみても、『環境教育』、『情報発信』、『イベント開催』の3つが上位を占めております。【図9③】

「その他」には、「各町内に花を植える。千秋公園の桜がさみすぎる。」、「情報を周知徹底する意識。」、「高齢化に伴い、特別なことではなく、市民が身近に環境問題に取り組める工夫とアナログ的情報発信。」という回答などが7件挙げられました。

表 9①

	項目	N=551	回答数	回答率
1	8 学校での環境教育の充実		288	52.3%
2	1 環境施策に関する情報発信の充実		277	50.3%
3	2 環境に関する広報活動、イベントなどの開催		233	42.3%
4	6 市民の環境関連活動への物品提供、補助金などの支援		151	27.4%
5	4 市有施設への積極的な環境対策の導入		134	24.3%
6	9 環境関連活動などに取り組む市民団体やグループへの支援		131	23.8%
7	3 法令や条例などによる規制や指導の強化		117	21.2%
8	7 市民向け環境学習会の開催		88	16.0%
9	11 自然環境保全地区の指定や野生生物保護の推進		78	14.2%
10	5 環境に関する普及啓発施設の整備		72	13.1%
11	10 環境や生きものに関する調査・研究の推進		70	12.7%
12	12 その他		9	1.6%
	無回答		30	5.4%
	計		1,678	304.6%

図 9①

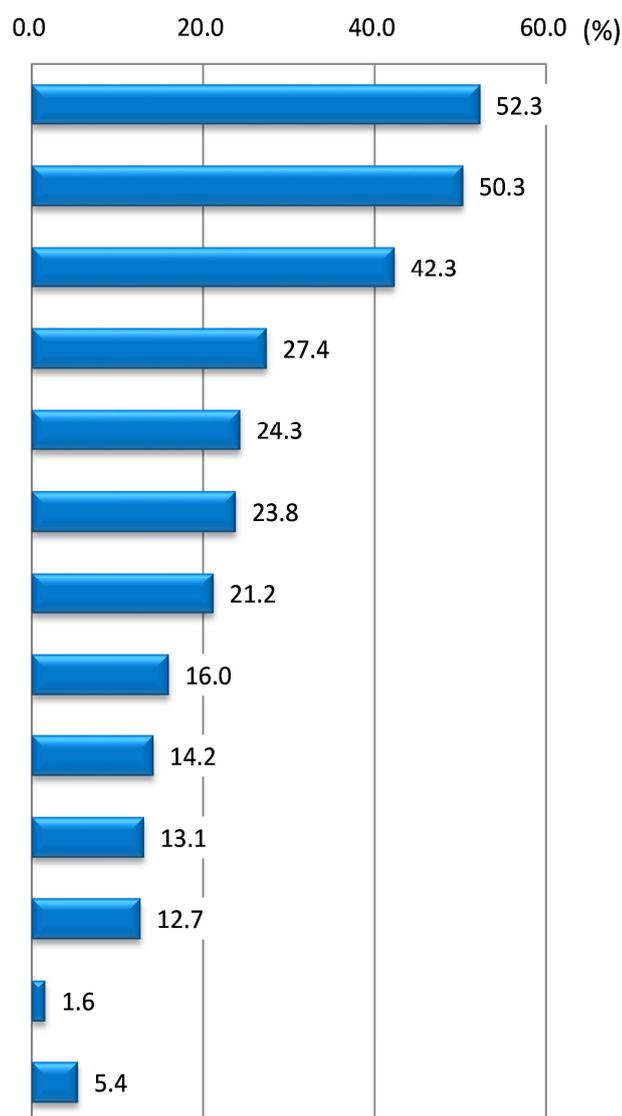


表 9② 前回調査比較

	項目	今回 N=551	前回 N=419
1	7 市民向け環境学習会の開催 8 学校での環境教育の充実	57.2%	39.4%
2	1 環境施策に関する情報発信の充実	50.3%	26.7%
3	2 環境に関する広報活動、イベントなどの開催	42.3%	18.1%
4	6 市民の環境関連活動への物品提供、補助金などの支援	27.4%	20.0%
5	9 環境関連活動などに取り組む市民団体やグループへの支援	23.8%	17.2%
6	3 法令や条例などによる規制や指導の強化	21.2%	8.8%
7	11 自然環境保全地区の指定や野生生物保護の推進	14.2%	11.0%
8	5 環境に関する普及啓発施設の整備	13.1%	21.7%
9	10 環境や生きものに関する調査・研究の推進	12.7%	7.2%
10	4 市有施設への積極的な環境対策の導入	24.3%	-
11	前回 開発により環境が損なわれないよう調整の強化	-	48.7%
12	前回 事業者への指導強化	-	25.3%
13	前回 国際協力の推進	-	2.1%
14	前回 税制等優遇措置の充実	-	16.0%
15	12 その他	1.6%	2.9%
	無回答	5.4%	2.4%
	計	304.6%	267.5%

図 9② 同左

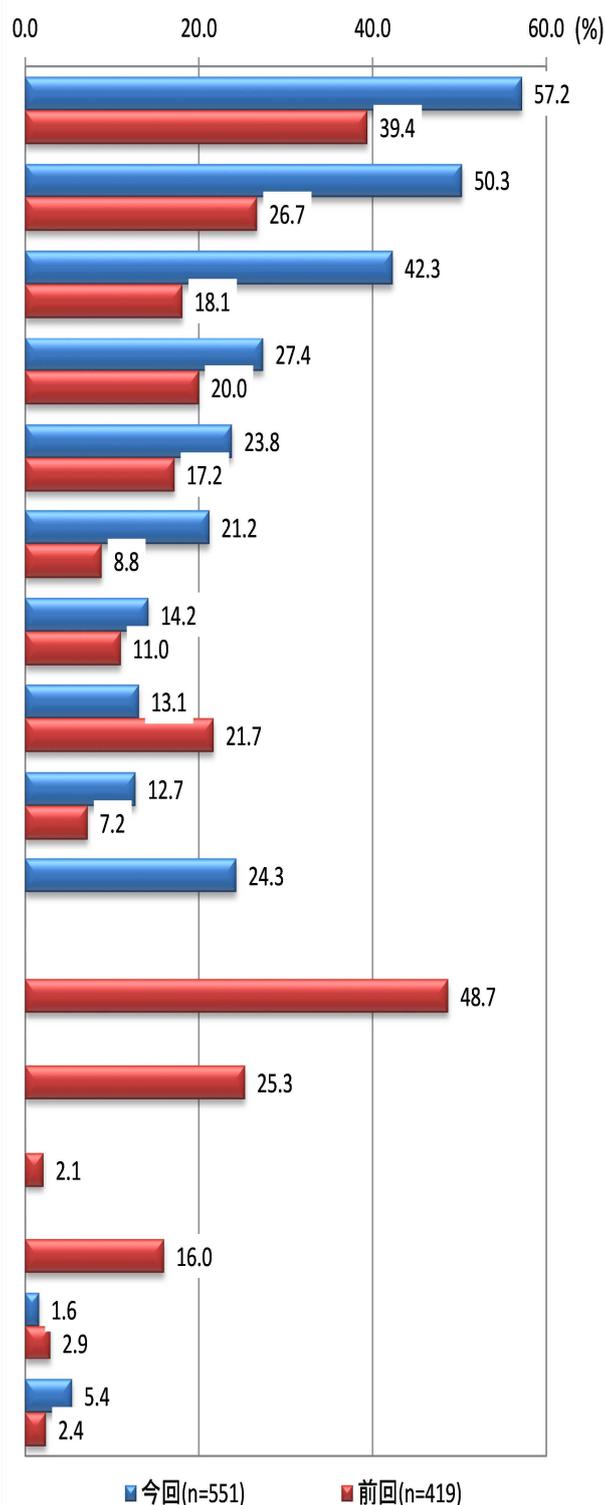


図 9③ 年齢別クロス



問 1 0 自由記述によるご意見をお伺いします。

設 問 内 容

問 1 0 市の環境に関する施策、身近な環境問題に対するご意見等、自由にお書きください。

解 析 結 果

有効回収 5 5 1 件から 9 0 人 1 0 9 件の意見がありました。
記述内容を分類すると以下のとおりです。

表 10

	分類名称	件数		分類名称	件数		分類名称	件数
1	雑草・樹木の剪定	13	9	環境教育・意識啓発（学習等）	6	17	利便性（交通機関）	3
2	ごみ処理（有料化）	7	10	道路（歩道）	6	18	施設整備	2
3	ごみ散乱・不法投棄	6	11	公害対策（汚染・悪臭・野焼き）	6	19	下水道（下水道・排水）	2
4	情報発信（PR・公表）	6	12	除雪	5	20	自然災害（異常気象・豪雨）	2
5	空家・空店舗・空地（休耕田）	6	13	行政（部局連携・関係団体連携）	5	21	利雪	1
6	マナー（ごみポイ捨て）	6	14	自然・野生生物の保護	4	99	その他	4
7	公園	6	15	環境活動（美化運動）	4	合計	109	
8	新エネルギー（太陽光・風力等）	6	16	景観（風景・区画整理）	3			

問 1 1 回答者について

設 問 内 容

問 1 1 - 1 性別を教えてください。

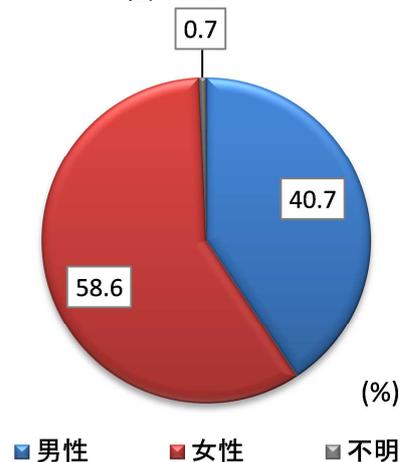
- 1 男 2 女

解 析 結 果

表 11-1

項目	N=551	回答数	回答率
1 男性		224	40.7%
2 女性		323	58.6%
不明		4	0.7%
計		551	100.0%

図 11-1



設問内容

問11-2 年齢を教えてください。

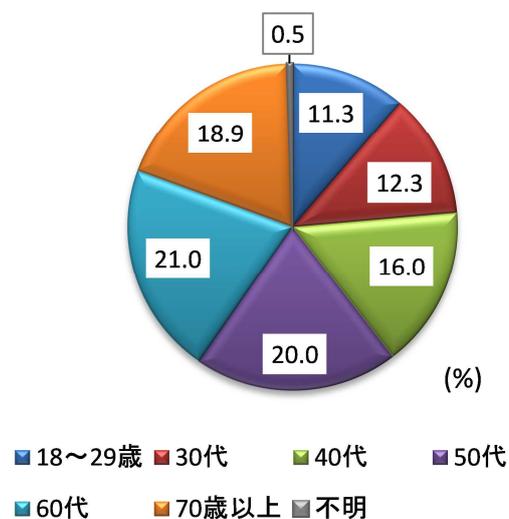
- | | | | | | |
|---|---------|---|---------|---|---------|
| 1 | 18歳～29歳 | 2 | 30歳～39歳 | 3 | 40歳～49歳 |
| 4 | 50歳～59歳 | 5 | 60歳～69歳 | 6 | 70歳以上 |

解析結果

表 11-2

項目	N=551	回答数	回答率
1 18～29歳		62	11.3%
2 30代		68	12.3%
3 40代		88	16.0%
4 50代		110	20.0%
5 60代		116	21.0%
6 70歳以上		104	18.9%
不明		3	0.5%
計		551	100.0%

図 11-2



設問内容

問11-3 職業を教えてください。

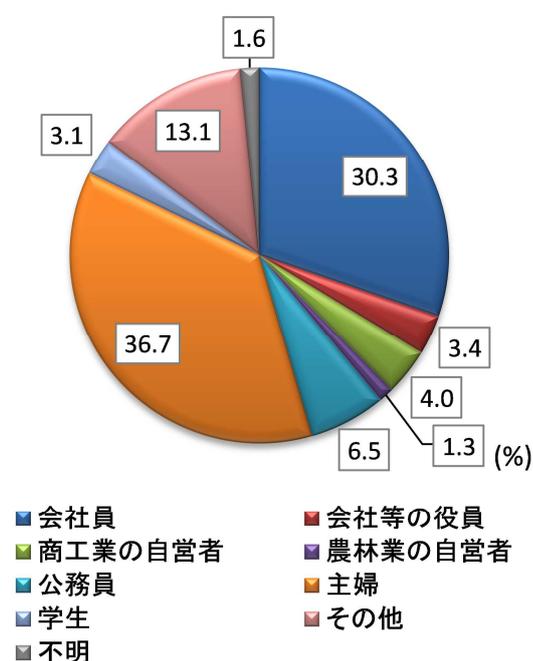
- | | | |
|------------|-----------------|-----------|
| 1 会社員・団体職員 | 2 会社等の役員 | 3 商工業の自営者 |
| 4 農林魚業の自営者 | 5 公務員 | 6 無職 |
| 7 学生 | 8 その他 (_____) | |

解析結果

表 11-3

項目	N=551	回答数	回答率
1 会社員		167	30.3%
2 会社等の役員		19	3.4%
3 商工業の自営者		22	4.0%
4 農林業の自営者		7	1.3%
5 公務員		36	6.5%
6 主婦		202	36.7%
7 学生		17	3.1%
8 その他		72	13.1%
不明		9	1.6%
計		551	100.0%

図 11-3



設問内容

問11-4 現在のお住まいでの居住年数を教えてください。

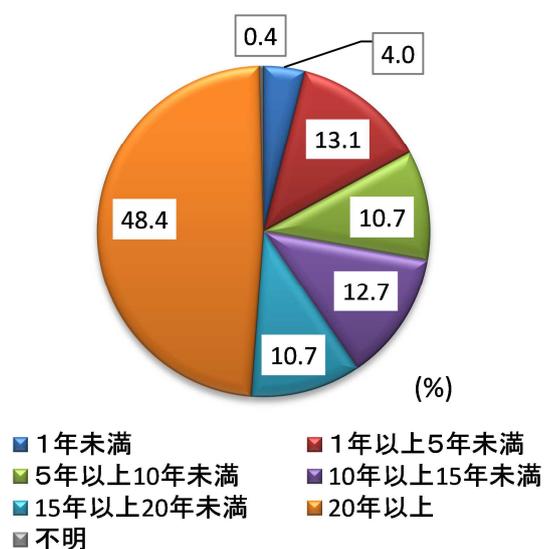
- | | |
|--------------|--------------|
| 1 1年未満 | 2 1年以上5年未満 |
| 3 5年以上10年未満 | 4 10年以上15年未満 |
| 5 15年以上20年未満 | 6 20年以上 |

解析結果

表 11-4

項目	N=551	回答数	回答率
1 1年未満		22	4.0%
2 1年以上5年未満		72	13.1%
3 5年以上10年未満		59	10.7%
4 10年以上15年未満		70	12.7%
5 15年以上20年未満		59	10.7%
6 20年以上		267	48.4%
不明		2	0.4%
計		551	100.0%

図 11-4



設問内容

問11-5 お住まいの地区を教えてください。(該当する地区の番号に○をつけてください)

地区	地区内に含まれる大字名
1 中央地区	大町、旭北、旭南、川元、川尻、山王、高陽、保戸野、秋操駅西側の泉千秋、中通、南通、檜山、茨島、八橋
2 東部地区	手形、手形山、秋操駅東側の泉、旭川、東通、横森、桜、桜ガ丘、新藤田濁川、添川、広面、柳田、山内、藤倉、仁別、太平、下北手、大平台、桜台蛇野
3 西部地区	新屋、(勝平含む。)、新屋町、浜田、下浜、豊岩、向浜
4 南部地区	牛島、卸町、大住、仁井田、御所野、御野場、御野場新町、四ツ小屋上北手、山手台
5 北部地区	金足、下新城、上新城、飯島、港北、土崎港中央、土崎港東、土崎港西、土崎港南、土崎港北、前記以外の土崎港、寺内、将軍野、外旭川
6 河辺地区	河辺全域
7 雄和地区	雄和全域

解析結果

表 11-5①

項目	N=551	回答数	回答率
1 中央地区		111	20.2%
2 東部地区		90	16.3%
3 西部地区		69	12.5%
4 南部地区		84	15.2%
5 北部地区		111	20.2%
6 河辺地区		41	7.4%
7 雄和地区		43	7.8%
不明		2	0.4%
計		551	100.0%

図 11-5①

